




おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
1	<p>あいおいニッセイ同和 損害保険株式会社 沖縄支店</p> <p>支店長 谷 昭廣</p>	<p>当社は行動指針の一つに「地域密着」を掲げ、地域社会への貢献活動に取り組んでおります。持続可能な地域社会の発展に貢献する取組を推進しすべての SDGs 目標に貢献してまいります。2016 年にはさらに地域密着を推進するため【地方創生プロジェクト】を立ち上げ地方公共団体との連携協定数は 270 団体を超えております。</p> <p>沖縄県においては「地域密着」の取組の中で、SDGs 目標に貢献する活動として以下の 3 つを実践してまいりました。</p> <p>《GOALS》アスリートを通じた地域貢献活動 当社所属契約アスリートである川内優輝選手による『マラソンキャラバンイベント』を開催。次年度以降も沖縄県内で開催されるマラソン大会に川内優輝選手・川内侑子選手の出場をしていきたいと考えております。また、当社は障がい者アスリートを雇用しており、沖縄県と連携して講演会等も実施してまいります。</p> <p>《GOALS》最先端のテレマティクス技術を活用したエコドライブ推進（CO2 削減） 宮古島市のエコの島コンテストにおいてテレマティクス技術を活用したエコドライブコンテスト実施してまいりました。今後も沖縄県内に広く展開していきたいと考えております。</p> <p>《GOALS》社員一人一人の SDGs 目標の宣言と実践による啓蒙活動と意識の定着 当社社員が自ら 17 ある SDGs 目標から実践する目標を宣言し実践をすることで、SDGs の取り組みを自分事として取り組んでいくことを始めています。これらを通じて地域の社会貢献の取り組みにも積極的に参加をしていきたいと考えております。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
2	<p>新垣養蜂園</p> <p>代表 新垣 勉</p>	<p>【南風原カボチャの交配用ミツバチの貸し出し】 南風原町役場とJAの共同事業 ミツバチの受粉により、生産性の向上は元より、糖度、形、腐りにくい三点が揃う付加価値のついたカボチャを創出。ミツバチが農薬の影響を受けやすいため、農薬使用料の減少に繋がり水質の保護に役立つ。 SDGs:2.4 6.6 12.8 12. b 17.17</p> <p>【首里ミツバチ・花いっぱいプロジェクト】 NPO法人 首里まちづくり研究会と協力体制 地域の特産品とセットにした地域店舗との商品開発などによる周遊性の付加価値を創出。ミツバチがいることで農薬等の軽減、緑地並びに水源（※ミツバチは巣の温度調整のために水を飲み、安全な水が必須）確保に役立つ。ミツバチ教室やシードボールづくり、ミツバチさんぽ（昆虫視点でまちあるき）によって、持続可能な社会づくりを昆虫視点で学ぶことができる。 地域再生大賞 優秀賞 主催：地方新聞社・共同通信社 ※地域の特産品を生み出し、売上の一部が寄付金になり首里のまちづくりへと活用される。 SDGs:4.7 6.6 8.4 11.4 12.8 12. b 13.3 17.17</p> <p>【大名小学校ミツバチプロジェクト】 小学校との連携 那覇市教育委員会 環境教育部門 最優秀賞 学校の屋上にミツバチを設置。ミツバチの生態について学ぶことで、持続可能な社会づくりを考える基礎となる知識を得ることができる。 実際にはちみつの生産に携わり、商品化、販売までと経済活動を学ぶことができる。さらに、収益を元に校内の緑化を行い、果樹等を植えることで循環型の環境創出に努めている。 SDGs:2.4 4.7 6.6 8.4 8.9 11.4 12.8 12. b 13.3 15.1 15.4 17.17</p> <p>【恩納村 PROJECT Bee】 恩納村役場協力 赤土流出防止の緑肥で花による観光資源の開発と共にハチミツ採取を行い、特産品を生み出し、持続可能な農業スタイルの実現と自然保全を同時に行っている。 SDGs:6.6 8.4 8.9 11.4 12.8 12. b 14.1 15.1 15.4 17.17</p> <p>【ダブルツリーby ヒルトン那覇首里城敷地内にて蜂箱設置】 敷地内に蜂箱を設置し、採取されて蜂蜜を料理で使い、採蜜体験やロウソクづくりなどを通して多くの方へSDGsの啓発活動を行っている。 SDGs:4.7 11.4 12.8 12. b 13.3 15.1 15.4 17.17</p>	

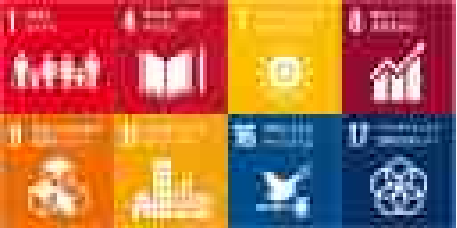
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
3	株式会社イーエーシー 代表取締役 大石 哲也	<p>当社は、建設コンサルタントとして、環境関連全般の調査解析、土木建設に関わる施工管理（現場技術）、測量・設計、都市計画及び地域経営計画等の委託業務を遂行しています。</p> <p>【経済】：地域エネルギーマネジメント等の環境事業計画、環境影響評価等の等の受託業務を通じて、「環境に配慮した技術」等について提起しています。また、自社の取組として、ジェンダー育休・時差出勤（子育て）、看護・介護休暇、ノー残業 day 等の就労環境の改善策を進めており、「社員の働きがいのある職場環境」をサポートしています。</p> <p>【社会】：環境事業計画や地域経営計画等の受託業務を通じて、「持続可能なまちづくり」や「都市環境の生活環境の向上」等について提起、貢献しています。また、自社の取組として、雨水利用、廃棄物の適正処理、節電、省エネ等の資源管理を適正に行うことにより、「水の管理向上」、「都市環境の生活環境の向上」、「廃棄物の適正処理」、「エネルギー効率の改善」に寄与しています。さらに、従業員のスキルアップの取組により、「従業員の技術的・職業的スキルアップ」等の啓蒙を行っています。その他、県の河川愛護活動への参加や環境教育、社会奉仕・地元クラブ支援による地域貢献活動を継続しています。</p> <p>【環境】：環境影響評価や環境事業計画等の受託業務を通じて、「海洋汚染の防止」、「海洋生態系の回復の取組」、「陸域生態系の保全」、「絶滅危惧種の保護」、「外来種の侵入防止」等について提起、貢献しています。また、自社の取組として、節電、省エネ等の資源管理を適正に行うことにより、「気候変動の緩和」へ繋がり、地域貢献活動としての環境教育により、「海洋・陸域生態系の保全」に貢献しています。</p> <p>当社は、SDGs の目標達成に向けて私たち一人一人が取り組み、“「地域と文化を育む環境」を考える企業”であることを目指しています。</p>	

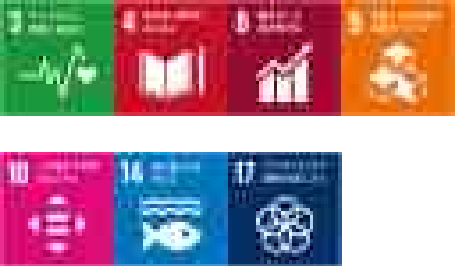
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
4	SMBCコンシューマーファイナンス株式会社 那覇お客様サービスプラザ プラザ長 高橋 亮	<p>●金融経済教育活動の実施 事業を通じたサステナブルな活動の一環として、地域コミュニティ拠点である「お客様サービスプラザ」が主体となり、未来を担う学生や地域の方々に対する金融経済教育の普及に取り組んでいます。</p> <p>金融経済教育を通じてお金に関する正しい知識と適切な判断力を身に付けていただくことで、金融リテラシーの向上による社会問題の解決を目指しています。</p> <p>具体的な取り組みとして沖縄県内の学校や企業向けのセミナー開催があり、内容に応じてグループ会社や関係先との協働も図りながら、出前講座やリモート講座などの様々な手法で実施しています。 ※「生活設計・家計管理」「ローン・クレジット」「金融トラブル」など</p> <p>金融リテラシーの向上によって健全なコンシューマーファイナンス市場の形成に取り組み、一人ひとりの安心と安全を高めながら、より豊かな生活の実現に向けた活動を推進します。</p>	

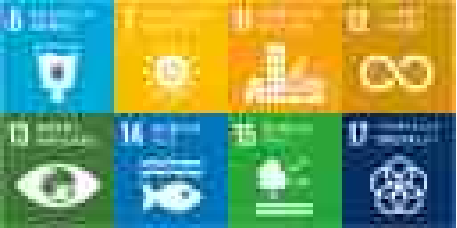
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
5	<p>NECソリューション イノベータ株式会社 沖縄支社</p> <p>支社長 宮城 英幸</p>	<p>●ICT 活用による地域の発展 雇用創出、文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するために、ICT 活用による地域の発展活動に取り組みます。具体的には、沖縄本島南部で、ジャンボタクシー、小型モビリティ、オンデマンドバスサービス等を ICT 活用により組み合わせた観光型 MaaS の実証実験を行っています。また、沖縄本島東海岸地域で、域内の団体や事業者と連携し、スポーツ大会・合宿・アクティビティの参加者に対する ICT を活用したサービスの構築を進めています。</p> <p>●公共データのオープン化、データ利活用促進 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と福祉向上のために、沖縄県や県内各自治体が推進するオープンデータを活用した最適社会実現への取り組みを支援していきます。具体的には、道の駅や北部観光施設での人流分析の実証事業を通じて得られたデータと地域オープンデータを組み合わせて、観光客の導線や混雑等を把握し、地域観光情報、防災情報等に役立つデータ利活用の方法を検討しています。</p> <p>●市民協働による持続可能なまちづくり 包摂的かつ持続可能な街づくりを促進するために、県内の団体や事業者と連携したイベントを企画するなど共助・共創型地域づくりを推進していきます。</p> <p>●子供の貧困対策（教育格差の解消） 教育格差の負の連鎖を断ち切り社会で活躍できる子供を育てるため、NPO 法人エンカレッジ及び NEC 沖縄支店と連携し、貧困家庭の子供を対象にしたプログラミング教室を実施します。</p>	

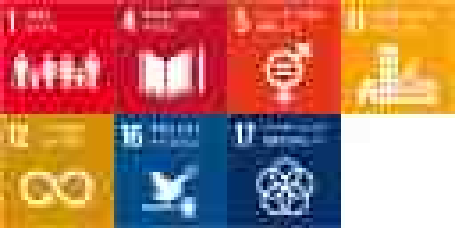
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
6	<p>株式会社 O T S サービス経営研究所</p> <p>代表取締役社長 栩野 浩</p>	<p>取組①SDGs 普及・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> * カードゲームを活用した SDGs 研修 * O C V B 「世界に通用する観光人材育成事業（育人）講師としての SDGs 研修 * 委員会委員（「第 1 回 沖縄地域におけるビジネスの視点からの SDGs 推進に向けた検討委員会」） * 県内紙におけるコラム連載による SDGs 啓蒙 * パネルディスカッション登壇 「沖縄の未来 x SDGs ～沖縄の持続的発展に向けて～」 「ビジネス視点からの SDGs」 <p>取組②先端 I T およびデータ活用による SOCIETY5.0 推進 産学官連携により、ビッグデータを集積・分析し、地域活性化や渋滞緩和、サンゴ保全などの課題解決に資する施策を実施</p> <p>取組③観光分野における食物アレルギー受入体制整備支援</p> <ul style="list-style-type: none"> * 食物アレルギー対応惣菜の生産体制構築及び普及 <p>取組④人材育成事業 観光産業を中心に様々な人材育成研修を実施。SDGs 分野においては、ビジネス実装のための県内初の研修を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 沖縄総合事務局「SDGs 実装ゼミナール」など 	





おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
7	<p>おきなわアジェンダ 21 県民会議</p> <p>会長 玉城 デニー</p>	<p>●自然環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境保全に係る普及啓発事業の共催（環境月間街頭キャンペーン／記念講演会、県民環境フェア、パネル展示など） ・おきなわアジェンダ21の進行管理として、地球温暖化対策や生物多様性の維持保全、海や河川環境保全等の目標 10、評価項目 55、参考値 6 の数値把握及び達成度評価 ・環境保全 NPO に対する仲立ちとして、活動資金の支援、情報提供、シンポジウム等の共催、関係機関とのコーディネート、NPO 間のネットワーク構築、労力の提供等を実施 ・環境保全貢献者へ感謝状贈呈等を行う 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
8	学校法人 沖縄キリスト教学院 理事長 伊波 美智子	<p>本学院には、キリスト教・平和・沖縄を重んじる建学の精神を土台にした大学と短期大学があり、「仕えられるためではなく仕えるために」をスクールモットーとしています。教職員と学生が共に以下の取り組みを実施しています。</p> <p>【全学的実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建学の精神を土台にした平和発信 <ul style="list-style-type: none"> 平和を考える学び合いとして 2013 年から始まり、12 大学の参加にまで広がった「沖縄・長崎・広島から平和を考える学び合い」が第 1 回ちゅうちな一草の根平和貢献賞を受賞しました。（沖縄キリスト教平和総合研究所） ●地域との連携、SDGs の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・小中高等学校や自治体、企業等への SDGs 研修、出前授業を提供します。 ・SDGs をテーマに、玉城デニー県知事を基調講演者に迎え、県外研究者が集う学会「テーマ：沖縄にみる SDGs を考える」を 2020 年 2 月に開催しました。 ●自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・WLO サークル（We Love Okinawa）が 2006 年から始めたクリーン活動は 114 回を超え、現在も活動を継続しています。 ・封筒を再利用可能なデザインに変更し、使い捨てしない仕組みを導入しています。 ・購買で購入時のレジ袋削減等、使い捨て用品の削減を実施しています。 <p>本学院の 3 学科における SDGs 達成に向けた取り組みを、地域社会とのパートナーシップ連携を模索します。</p> <p>取り残されがちな若者、女性の社会への意思決定への参画を重視しています。</p> <p>【沖縄キリスト教学院大学 英語コミュニケーション学科】の取り組み 国際化・グローバル化する世界の文化・経済・政治等の国際交流の場において、事実上の国際共通語となっている英語において、高度のコミュニケーション能力をもって、効果的かつ分別をもって運用できる人材を育成します。</p> <p>【沖縄キリスト教短期大学 英語科】の取り組み 多文化・異文化に関する理解と国際的な視野を身につけ、実用的な語学力（英語）とコミュニケーションスキルを用いて、増え続けるインバウンドの方々、地域の方々へ貢献できる人材を育成し、観光産業へ貢献できる人材を育成します。</p> <p>【沖縄キリスト教短期大学 保育科】の取り組み 重要な乳幼児期を担う保育者の養成と、沖縄県内の子どもを取り巻く保育環境づくりに貢献します。キリスト教を土台とする建学の精神を理解し、平和を実現するために必要な世界観と良心を身につけた学生を養成します。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
9	株式会社 沖縄銀行 取締役頭取 山城 正保	<p>●地域経済との共創 地域経済の持続的な発展には、地域における事業者の皆さまの事業の継続性が重要であるとの認識のもと、事業者の課題解決を図るとともに、生産性向上を図り、持続的な社会の実現を目指してまいります。 地域経済の持続的な発展には、お客さまの良質な資産形成が必要との認識のもと、お客さまの金融リテラシーの向上を図ることで持続的な社会の実現を目指してまいります。</p> <p>●地域社会との共創 健康応援バンクとして、地域社会が健康になることで、地域社会との共創を図ってまいります。 次世代の地域社会を担う子供たちの活力ある未来の実現にむけ、金融教育、地域活動を通じて、地域社会との共創を図ってまいります。 地域社会の社会福祉の発展に貢献することで、地域社会との共創を図ってまいります。</p> <p>●地域環境との共創 環境に優しい地域社会作りに貢献することで、地球環境との共創造を図ってまいります。 環境にやさしい経営を行うことで、地域のお客様のワンダフルライフを実現し、地域環境との創造を図ってまいります。</p> <p>●ダイバーシティとの共創 人権や多様性を尊重し、全ての人が仕事も生活も充実させ自分らしく活躍できる、共創できる社会づくりに貢献してまいります。 地域経済、地域社会、地球環境との共創する能力が発揮できる生きがい、働きがいのある職場を作り、ダイバーシティとの共創を図ってまいります。</p>	   

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
10	有限会社 沖縄クリーン工業 代表取締役社長 前田 裕樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共下水道の維持管理及びに民間商業施設で起こりうる汚水排水管の詰まり、調査、点検等を通じて 365 日 24 時間緊急対応を行い、安全な環境づくり並びに社会経済発展に向けた取り組みを行っております。 ・ 産業廃棄物処理に関しては、収集・運搬（18 品目）・処理（15 品目）を一括で行うことで、お客様により持続可能なより良い処理をご提案し、法令遵守（コンプライアンス遵守）で安心、安全を提供します。限りある資源を最大限有効利用するため、リサイクル、再生エネルギーを推進し、新たな技術及び可能性に挑戦し続けます。 ・ 地域の環境イベントや出前環境教育への積極的な出展参加を行い、環境教育及び持続可能な社会への取り組みを発信しています。 ・ 地域の西原東中学校と連携し、未来を担う子供達に職場体験を実施し、廃棄物に直接触れ、処理までの工程を直接体験し、ごみ分別の重要性を学んでもらいます。 ・ 弊社は、エコキャップ推進協会と共に、沖縄地区でのエコステーションとして多くの賛同者の理解を得てエコキャップを集めております。その収益金は、高齢者雇用促進、国内外の子どもの医療支援や生活保護等に有効利用されています。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
11	株式会社 沖縄計測 代表取締役社長 玉城 幸人	<p>1. 土木事業部における取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦後問題である不発弾による事故を未然に防ぐ事を目的とした磁気探査業務、船舶の航行安全確保のための水路の確保、水上構造物に関連した水深測定および防災や環境調査などにおける基礎データとしての詳細な地形把握等を目的とした深淺測量を実施しており、安全な環境づくり並びに社会経済の発展に向けた取組を行っています。 ・建築予定地の地盤性状を把握し、構造設計に必要な土質定数、基礎形状、液状化判定、不発弾等の埋没深度等を算定する事を目的とした地質調査業務、測量設計並びに開発申請許可業務等も実施しており、社会経済の発展に向けた取組を行っています。 ・磁気探査に用いられている磁気探査機器等の開発を行う事により、環境への負荷低減に向けた取組を行っております。 <p>2. リサイクル事業部における取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル事業部では、廃プラスチック(ペットボトル)再生処理を実施しており、循環型社会構築に向けた取組を行っております。また、島嶼である沖縄が抱える環境問題の一助となるよう地域への啓発活動も実施しております。 <p>3. ISO9001 にて、品質目標として「人材育成」、「ICT 及びデジタル技術を用いた技術開発及び業務提案」、「働き方改革」の3項目を掲げ、取り組んでおります。</p> <p>4. エコアクション 21 にて、『地球温暖化対策』・『循環型社会形成の推進』及び『自然共生社会構築』に貢献すべく環境に配慮した取組((co2・水及び廃棄物の削減、グリーン購入の推進)を行っております。</p>	

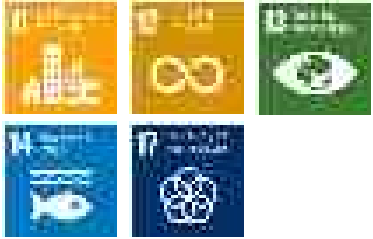
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
12	<p>一般財団法人 沖縄県環境科学センター</p> <p>代表理事 比嘉 悟</p>	<p>●安全・安心な水と食品のための検査 亜熱帯に位置する万国津梁の沖縄は、感染症や動物由来感染症などの疾病に対する不安があります。観光客を含め沖縄で生活・滞在するすべての人々の健康と安全・安心な暮らしを実現するために、飲料水及び食品の検査、水道及び食品等事業者の検査・衛生管理を指導することにより、事業者・生産者と消費者の意識向上、さらに食品ロス削減にもつなげます。</p> <p>●地球温暖化対策 気候変動の影響を受けやすい島しょ沖縄において、地球温暖化対策としてJ-クレジット制度による省エネと創エネ、沖縄県 CO₂ 吸収量認証制度による CO₂ 吸収、カーボン・オフセットによる CO₂ 排出削減を促進するとともに、以下の取り組みを行うことにより CO₂ の吸収促進と排出削減につなげます。</p> <p>●自然環境の保全 沖縄の豊かな自然環境と生物多様性を劣化させることなく次世代に引き継ぐために、サンゴ礁・海草藻場・干潟の保全、オニヒトデ対策、希少野生動植物の保護、外来生物の侵入防止・駆除、失われた沖縄らしいサンゴ礁や河川などの自然環境の再生、水質や土壌の浄化に取り組みます。</p> <p>●働きやすい会社・住みやすいまちをつくる 弊社は、働き方改革に関連して「沖縄ワーク・ライフ・バランス企業」に認証されており、仕事と生活の調和に積極的に取り組む企業として、ディーセント・ワークを促進します。また、エコ通勤に関して、県内で唯一「エコ通勤優良事業所」に認証登録されており、高い意識を持ち、取り組みを積極的に推進している企業として、より望ましい通勤交通のあり方を考えます。</p> <p>●産学官連携による課題解決 沖縄の環境問題の解決のために、国内外の大学や研究機関、企業とのコンソーシアムによる調査研究や研究開発を実施しています。研究成果は、マスコミや論文、学会等で発表しており、産学官連携によるイノベーションや事業化、起業を目指します。</p> <p>●普及啓発 沖縄の環境の現状と課題を“正確に”、“わかりやすく” 県民に伝えるために、イベントや出前講座の開催、セミナーやシンポジウムの話者、研修会や講習会の講師を務めるほか、実習生や研修生を受け入れ、県民への知識の普及と意識の啓発に努めます。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
13	<p>一般財団法人 沖縄県公衆衛生協会</p> <p>会長 小渡 有明</p>	<p>一般財団法人沖縄県公衆衛生協会は「公衆衛生の向上を図り、県民の健康で文化的な生活の建設に寄与する」ことを目的に設立され以下の活動をしています。</p> <p>○沖縄県公衆衛生大会・学会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県との共催で「沖縄県公衆衛生大会」を開催。 ・公衆衛生の進歩発展と会員相互の研鑽を図る目的で沖縄県公衆衛生学会を開催。 <p>○公衆衛生研修会・講習会開催</p> <p>健康づくり、保健・福祉問題などについて県民に考えてもらいたいことや、県民からの要望に応じて、研修会や講演会を企画・開催しています。</p> <p>例・調理師資格取得試験準備講習会 ・食中毒防止研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な害虫と危険生物研修会 ・感染症予防研修会 <p>○環境科学関連事業</p> <p>自然や生活など地域に根ざした環境教育・理科教育の実施や、持続可能な社会づくりの担い手を育む人材育成に取り組んでいます。</p> <p>例・子供科学人材育成事業 ・成犬譲渡促進事業委託業務 ・環境分析計量証明事業</p> <p>○地球温暖化防止に関する実践活動事業</p> <p>沖縄県地球温暖化防止活動推進センターとして、環境や地球温暖化に対する県民の意識を高めることを目的に学習会・イベントなどを企画・開催しています。</p> <p>例・子供向け地球温暖化対策講座の開催 ・SDGs ワークショップの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ講習会の開催 ・COOL CHOICE の推進 ・沖縄県地球温暖化防止活動推進員、活動団体等の支援 <p>○生活科学調査研究事業</p> <p>県や市町村、事業所等からの委託による調査研究や助成事業の活用による自主的研究など、公衆衛生を中心に多岐にまたがる調査研究活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり実践支援事業 ・介護保険事業計画 ・高齢者福祉事業計画 ・障害者・障害福祉・障害児福祉計画 <p>○ハブ等対策事業</p> <p>本県の場合、ハブは生命に対する危険性だけでなく生産活動への制約も含めて重要な問題です。しかし、ハブも沖縄にとって自然の大切な資産です。ハブと人間の共存を目指して活動しています。</p> <p>例・タイワンハブ捕獲調査 ・ヘビ類駆除業務 ・ハブ対策用具の販売</p>	

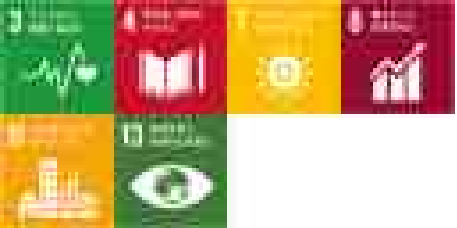
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
14	一般社団法人 沖縄県ホテル協会 会長 當山 智士	<ul style="list-style-type: none"> ●食品ロスに対する取り組み ホテル業における食品ロス削減の取り組みとして、宴席時の「乾杯後」「宴席終了前」に、食事を促すアナウンスの推進。 ●持続可能な観光産業としての取り組み 持続可能な地域創世の為の観光負荷削減の取り組みとして、歯ブラシ&シェーバー等のプラスチックごみの大幅削減、ごみ処理費用の削減への取り組みの提言。 ●パートナーシップ連携 沖縄県や沖縄観光コンベンションビューローとの意見交換や、会員向け講演会等を通じ、SDGs の啓蒙活動、課題や具体的な取り組みについて共有し、各種関連団体と連携し協同していく。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
15	<p>公益財団法人 沖縄県メモリアル 整備協会</p> <p>理事長 堤 純一郎</p>	<p>●貧困をなくし、すべての人に健康と福祉を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用負担を軽減する永代供養プランの創成、提供。 ・老後の生活、医療、福祉、健康に関する終活セミナーの開催による啓発活動。 <p>●質の高い教育をみんなに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多岐にわたる高齢にまつわるお悩み、ご相談に沿った終活セミナーの開催。 ・HPにて沖縄の葬送文化や風習を綴ったメモリアルコラムの公開。 <p>●ジェンダー平等を実現しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別を問わず、継承の心配が不要な供養プランの創成。 <p>●エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本社および全霊園管理事務所の LED 化とペーパーレス化による省エネの推進。 ・管理型霊園を整備し、墓地集積によるエネルギー多消費型都市活動の抑制。 <p>●産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様で変化するお客様のニーズに的確に対応できる商品・サービスおよび独自の事業モデルの創造。 <p>●人や国の不平等をなくそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国籍、宗旨宗派を問わず利用できる管理型霊園の整備と運営。 <p>●住み続けられるまちづくりを</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県北部から先島諸島まで 8 市町村に管理型霊園および永代供養墓を整備し、持続可能な都市化の促進に伴う墓地不足を解消。 <p>●つくる責任つかう責任、陸の豊かさを守ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理型霊園へ既存墳墓の改葬を促進し、市街地や山野の土地資源活性化を助長。 ・管理型霊園の整備による新規個人墳墓開発の抑制。 <p>●気候変動に具体的な対策を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震や防火対策等、災害に強い管理型霊園と永代供養墓の整備。 <p>●平和と公正をすべての人に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の方の利益の増進に寄与する透明で健全な経営。 ・反社会的勢力に対する取引の排除。 <p>●パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の終活カウンセラーおよび、士業との連携による終活セミナーの開催。 	






おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
16	一般社団法人沖縄 C02 削減推進協議会 代表理事 瑞慶覧 長臣	<ul style="list-style-type: none"> ●協議会では、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の取り組みにより、エネルギー・ベネフィット（省エネ効果重視）から結露やヒートショックなど健康への影響を重視したノンエネルギー・ベネフィットを実施しています。 ●協議会では、ZEB 推進専門員制度を設置し協議会内外の興味のある方へ勉強会を開催し専門員委嘱状の付与や、また高度で複雑な省エネ削減提案の C02 削減分析士を創設し勉強会を開催しています。 ●協議会では、分散型メガソーラー事業を実施しており、県内の個人住宅の屋根を借り、太陽光発電システムを設置し、クリーンなエネルギーを発電中です。協議会では、定期的に能力テストを実施しており、能力だけではなく、やる気も評価にして、給与や賞与へ反映しており、能力の見える化を行っています。 ●ネット・ゼロ・エネルギー・ビルを推進する事で、街の環境が激変します。冷房等のエネルギー量が激変し、ヒートアイランドの無い街となり、継続し住み良い街となります。 ●協議会では、経済産業省の支援を受け省エネ相談や調査診断を無料で行うなど、C02 削減提案を地方公共団体や民間を含め 721 件を行い、提案実施は 125 件での C02 削減に貢献しました。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
17	<p>沖縄食糧株式会社</p> <p>代表取締役社長 中村 徹</p>	<p>①自然豊かな沖縄の川・海を守るため、水質汚染の要因と考えられる「とぎ汁」を出さないBG無洗米機を沖縄県で唯一導入し、無洗米（愛を米無洗米）商品の啓蒙、販売強化を実施する事で、CO₂排出量やチッソ・リンなどの汚濁物質を削減する取り組みを実施しております。</p> <p>②県民へお米（ごはん）を食べる事の大切さを広く周知するため、玄米・金芽米など「ごはん食」に関する講演会の実施、ごはんをメインとしたイベントを定期的で開催し、お米を通して長寿県復活に取り組んでおります。</p> <p>③県内幼稚園・小学校などからの工場見学や出張授業などを受け入れ、田植えや精米体験などを通しコメに関する学習の機会を促進しております。</p> <p>④県民の主食である米を販売する企業として、安心・安全な商品を安定的に供給する目的で、衛生管理の国際基準「精米 HACCP」を国内初取得し、全社員が品質に対する意識を常に高く維持するよう努めております。</p> <p>⑤弊社と関わりがある異業種企業県内 50 社で構成される「スーパーネットクラブ」で県内ビーチや公園などの清掃活動を定期的実施し、陸域・水辺環境の保全に取り組んでおります。</p> <p>⑥様々な企業・団体とのパートナーシップを構築するため、「BG 無洗米コンソーシアム」（全国約 140 社）の一企業として、東京・和歌山で同時開催された「持続可能な食（サステナブルフード）」についての講義を一斉に受講した人数でギネス世界記録へ挑戦し達成しました。</p>	

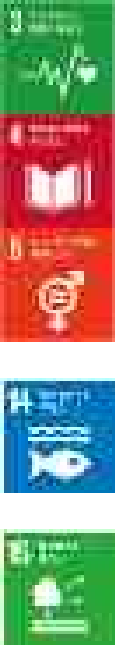
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
18	株式会社沖縄ダイケン 代表取締役 山盛 博文	<p>●職業能力の向上、資格取得推進 ビルメンテナンス業を通じて、環境管理の課題に取り組む人材を育成するため、社内外の研修実施、セミナーや講演会への参加、資格手当を支給し資格取得推進に取り組んでいます。</p> <p>●外国人技能実習制度の導入 経済の発展に伴う人手不足に対応するために、外国人技能実習制度を導入。雇用対策だけでなく、日本、沖縄の文化や生活にも親しんでもらい、ビルクリーニングの技能・技術を習得し、自国に戻って活躍できる「人づくり」に取り組んでいます。</p> <p>●障がい者雇用促進 障がい者の自立を応援するため、積極的に採用に取り組んでいます。また、みんなでサポートできる体制を作ること働きやすい職場づくりに取り組んでいます。</p> <p>●健康経営への取り組み 企業が持続可能となるためには、働く従業員ひとり一人の健康が大切だと考え、健康診断受診率100%、禁煙や受動喫煙防止、体力づくりのためのクラブ活動推進に取り組んでいます。</p> <p>●環境マネジメントシステムの取り組み ISO14001 認証取得（那覇本社・浦添本社） 事務所内の電気使用量削減、社有車の燃費向上、現場作業で使用する洗剤をアルカリイオン電解水に変更するなど環境負荷低減に取り組んでいます。</p>	    


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
19	<p>沖縄ツーリスト株式会社</p> <p>代表取締役会長 東 良和</p>	<p>● 食物アレルギーでも安心な沖縄旅行の態勢作り</p> <p>食物アレルギーのためにあきらめていた家族旅行を楽しむことができるように。「誰一人取り残さない」の視点で、食物アレルギーのお子様でも心配することなく、家族と同じ食事を楽しんでいただけるストレスのない旅行「安心フリープラン」を企画・販売している。</p> <p>受け入れ態勢充実のために、一般社団法人アレルギー対応沖縄サポートデスク（代表理事：東 良和）を設立し、食物アレルギーに対応した沖縄全体のバリアフリー化を実現すべく、宿泊・飲食事業者を対象にさまざまな支援をワンストップでおこなっている。</p> <p>今後も、一般社団法人アレルギー対応沖縄サポートデスクによる食物アレルギー啓発教育、アレルギー対応調理実習、各種アレルギー疾患のお客様が安心して過ごせるための清掃/寝具/アメニティなどの整備支援、調理や食材/加工食品の保管などキッチンに適した混入防止策の設計/指導、アレルギー対応料理レシピの開発、アレルギーに関するお客様対応員の養成支援等をおこなっていく。</p> <p>● 観光、漁業等の分野で SDGs 達成を目指す新会社設立</p> <p>SDGs に特化した事業をおこなう新会社 Rewso（リューソ）を設立。</p> <p>OTS と、沖縄海洋資源開発、Ts' products が共同出資し、環境保全を中心とした SDGs の目標達成を目指している。観光、漁業、CO2 排出削減、6 次産業などさまざまな分野で IT を駆使した新しいサービスを提供していく。</p> <p>今後は、IT を利用した漁業連携システムの開発、SDGs の視点にもとづく漁協運営のコンサルティングや、CO2 排出削減量自動計算/データ管理システム開発などをおこなっていく。</p>	 

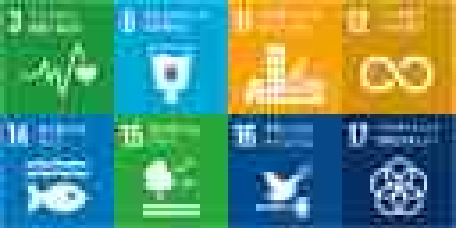
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
20	富士通 Japan 株式会社 沖縄支社長 本中野 貴	<p>沖縄県の ICT 企業として、ICT を活用した社会課題の解決を目指し、経済の持続的発展と環境との調和を重視した SDGs の達成に向け、以下のことに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療サービス向上による健康維持増進への取組 電子カルテシステムの開発と、県内病院への導入を通じ、県内に暮らすすべての人々が健康的な生活を確保できるよう、非感染性疾患の早期発見、治療に寄与します。 ●図書館の ICT 化による生涯学習支援への取組 県内の図書館へのシステム導入を通じ、沖縄の未来を担う子どもたちや、生涯学び続けたいと思うすべての人に対し、効率的な学習環境を提供できるよう取り組みます。 ●女性活躍支援の活動 社会における女性の参画やリーダーシップを発揮できる機会を確保し、沖縄県の企業文化の変革も含め、働き方改革の推進に取り組みます。また、実践事例の発信により、県内で働く女性のエンパワーメントに貢献します。 ●海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取組 企業内のペットボトルやプラカップの廃止による一人ひとりの意識改革から、ICT を活用した海洋マイクロプラスチックの効果的な調査測定を検討まで、沖縄県の海洋環境の保全に取り組みます。 ●森の次世代継承への取組 沖縄の豊かな森を整備し次世代へ継承するための地域コミュニティへの参画やイベントの活動支援、ICT を活用した森林の環境保全に貢献します。 	

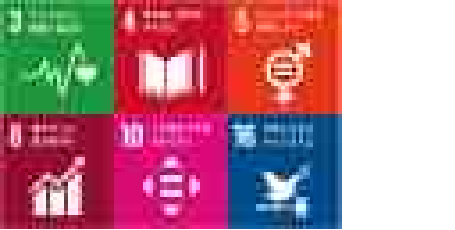

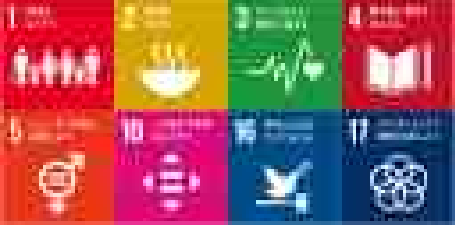
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
21	海星学園グループ 海星学園 園長 島尻 美恵子	<p>●女性が社会参加しやすい環境作り 地域での放課後児童クラブ(以下、クラブ)の不足により、子どもを預けることができないことから、就労できない、或いは時短で就労(パート勤務)する母親が多い。待機児童を0にするため、役場や町議会などの行政機関にクラブの量的拡充を定期的に訴求します。</p> <p>●質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育 書字・読字、計算などを幼児期までに習得していける子どもの育成。初等教育の準備を整える。また、クラブに所属する児童に SDGs 活動の必要性を道徳観や社会性を通じて伝えていく。また児童を通じて保護者にも活動に参加してもらう。</p> <p>●中学生までの医療費無償化への署名活動 沖縄県では小学生以上は医療費が有料であることから、貧困世帯の子どもが病気になっても診療が受けられるような環境作りに参加します。</p> <p>●資源の無駄を減らす 使い捨ての物をできるだけ減らし、ペーパーレスに励む。「捨てる」を減らすことで森などの資源を大切にします。</p> <p>●貧困世帯の支援活動 社会福祉協議会(以下、社協)と連携し、各家庭で不要となった衣類(幼児から小学生サイズ、中高生制服)、寝具類、家電、その他の物品を寄贈。寄贈した物品を貧困世帯に配達してもらう。またクラブや保育園の保護者等に寄贈依頼を呼び掛けます。</p> <p>●SDGs に取り組む企業と取引 SDGs に取り組み 1~17 のゴール達成に貢献している企業と取引をし、そういった活動をしている企業情報を発信していきます。</p> <p>●活動内容を発信し、SDGs の普及に努める 上記活動を SDGs のアイコン等を弊社 web 等で拡散し、沖縄県内の SDGs の認知度を上げていきます。</p>	

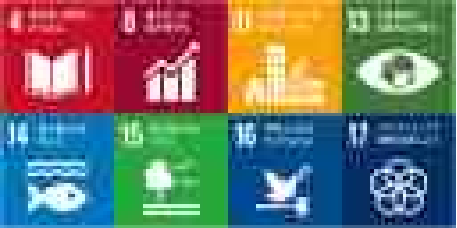
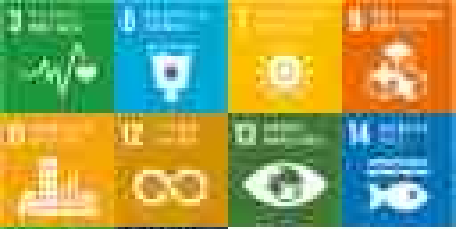
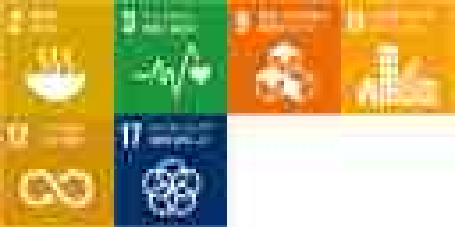
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
22	<p>一般社団法人 化学物質過敏症・対策 情報センター</p> <p>代表理事 上岡 みやえ</p>	<p>●室内空気中の有害物質濃度を低減させる具体策の提案 化学物質過敏症を発症させない、悪化させないためには、室内空気中の有害物質濃度を低減させていくことが最も合理的です。室内空気中の有害物質濃度が低ければ、その室内空間を共有するすべての人の健康増進に寄与することができます。PTA・自治体・企業向け勉強会や講演会、当団体作成の小冊子や動画、SNS などを通して、このような知見を広め、自他の健康を守るための具体策を提案いたします。</p> <p>●海の豊かさを守る 水質汚染の主原因は生活排水です。洗剤や柔軟剤などの日用品に含まれる有害化学物質は、最終的には下水に流され河川や海を汚します。日用品にひそむリスクを知ってもらうことで有害化学物質の総使用量を減らし、生命の源である海、沖縄にとっては観光資源でもある海の豊かさを守っていきます。</p> <p>●誰もが安心して学び働き続けられる空間作り 柔軟剤や整髪料などのニオイによって具合が悪くなる人がいます。人口密度の高い学校や職場では、こうしたニオイを避けることは難しく、具合が悪くても我慢せざるを得ません。結果として、学ぶことも働くこともできなくなるほどに体調を悪化させてしまう人が増えてしています。何気なく使っている日用品に他者を害する可能性があるを知ってもらうことで、有害化学物質の総使用量を減らし、誰もが安心して学び働き続けられる空間作りをすすめます。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
23	<p>金秀グループ</p> <p>会長 呉屋 守將</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金秀建設(株) ・ 金秀鋼材(株) ・ 金秀アルミ工業(株) ・ 金秀商事(株) ・ 金秀バイオ(株) ・ 金秀興産(株) ・ 金秀鉄工(株) ・ 沖縄ピーシー(株) ・ (株)かねひで 総合研究所 ・ (株)金秀本社 <p style="text-align: right;">計 10 社</p>	<p>誠 実 多様な人材の活躍を推進、限りない可能性への挑戦、定時退社の取り組みなど、社員一人ひとりが働きがいをもって誠実に健康で生き生きと働くことのできる職場環境づくりに努め、地域社会とともに持続発展する未来づくりに貢献します。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定時退社を促進したワークライフバランスの充実を図る ・ スポーツ等を通じた健康でいきいきと働ける職場づくり ・ 男性も女性も共に活躍できる職場環境づくり ・ 働きがいのある職場づくりと経済成長への寄与 など <p>努 力 食生活・住環境に配慮した安心で安全な商品の提供、生活者の利便性の向上、低コストで付加価値の高い製品の追及など努力を重ね、人と人の暮らしに寄り添いながら事業の創造と拡大に取り組み、持続発展する安心で安全な暮らしと住まいづくりに貢献します。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーカソンなどの道路清掃、地域の河川清掃、ビーチクリーンなどの環境美化の実施 ・ ワークスタイルの変革に欠かせない IT 環境づくり ・ 持続可能な原料調達への取り組み ・ バリアフリー化の推進 など <p>奉 仕 子供の教育や貧困問題、地球温暖化による災害など、経済、社会、環境に関する様々な課題を解決する重要な役割を担う次世代の育成の支援や余暇、レクリエーションの提供など、人と人の繋がりを大切に事業活動とともに社会奉仕に取り組み持続発展する社会づくりに貢献します。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 首里城復元に向けた取り組み、伝統文化の保全、継承への寄与 ・ 食品ロスへの取り組み ・ 金秀青少年育成財団の活動を通じた人材育成 ・ ペルー奨学金(国内外)を通じた人材育成 ・ 米軍基地から派生する諸問題の提起 ・ 平和を希求する心の発信 など 	  


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
24	株式会社かりゆし 代表取締役社長 當山 智士	<p>①KARIYUSHI × EDUCATION 【観光人材育成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おきなわの観光」意見発表・絵画コンクール 「おきなわの観光」をテーマに自然や人・文化・歴史・産業・平和など、あらゆる視点から沖縄の未来に対する思いや課題解決への考えなどが込められた意見・絵画作品を募集しております。応募は無料で、育つ環境にとらわれず自身に自信をもち地域に誇りを持てる観光人材の育成を目指し、【4 質の高い教育をみんなに】を軸に、SDGs のゴールに向けて、事業・団体・地域の皆様と共に沖縄の未来を担う子供達が、平等に公正に夢をもって成長できるステージを提供します。 ・海外からのインターンシップの受け入れ 外国人インターンシップ生を積極的に受け入れ、日本での職業体験を通して文化の相互理解を深め、グローバルに活躍できる観光人材の育成を目指します。 <p>②KARIYUSHI × ECO 【自然環境の保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション 21（2004 年エコアクション 21 認定） 地域性及び環境への関連を考慮し、全ホテル LED 化や天然ガスコージェネレーションシステムを導入しているほか、中水処理施設・生ごみ処理機を完備し、ホテルから出た廃棄物を再生し自然に戻すことで、自然環境の保全と再生の責任を果たします。 ・サンゴ再生プロジェクト（2008 年） サンゴの苗植付体験を通して、お客様や団体の皆様に沖縄の海の豊かさについて学んで頂き、「サンゴの村宣言」を推進している恩納村とパートナーシップをもって海の豊かさを守る活動を行っております。 <p>③KARIYUSHI × FARM 【地産地消】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の取組と「かりゆしの森・かりゆしファーム」の完備 沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ敷地内にある「かりゆしの森」を活用したサービスや「かりゆしファーム」の食材をホテルレストランで提供する等、自然環境と共に会社の持続可能な成長を目指しております。 また、恩納村の漁協や地元農家との協同・連帯で県産食材を活用し、地産地消に努め、お客様へ安心安全な食事を提供いたします。 	  


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
25	<p>「環境から健康を考える会」エコット</p> <p>代表 諸見 みどり</p>	<p>* 県立図書館での大型絵本や紙芝居の読み聞かせでSDGsを紹介。 SDGsに繋がる内容の作品を選んでの実施。</p> <p>* 児童クラブのエコ講座・エコ調理実習でSDGsを紹介。</p> <p>* 公民館での講座受講者へ講座の中でSDGsを紹介。</p> <p>* 大学生と連携した、学園祭における気候変動対策ブース出展企画の実施。</p> <p>① 緑のカーテン事業 * 自然・環境の保全・再生・適正利用</p> <p>② 環境絵本と紙芝居の読み聞かせ事業 * 地域社会を支える人材の育成</p> <p>③ 地産地消・食育事業 * 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 ・ 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ・健康・長寿おきなわの推進</p> <p>④ ウルルレンジャー子ども育成事業 * 沖縄らしい個性を持った人づくりの推進 ・自ら学ぶ意欲を育む教育の充実</p> <p>⑤ エコ講座・エコ環境を考えるイベント事業 * 持続可能な循環型社会の構築 ・低炭素島しょ社会の実現 (パートナーシップの見込み等)</p> <p>* 協働の進めにおける連携 県民×行政×NPO×企業×学生 児童クラブとの関りで、子育て真っ最中世代から高齢者までを繋ぐ。</p>	



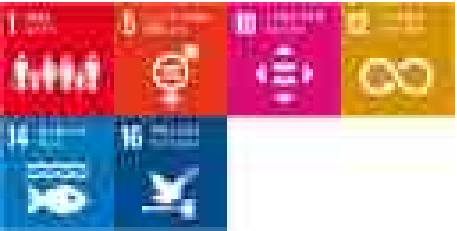
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
26	<p>教育出版株式会社 沖縄営業所</p> <p>所長 赤嶺 勇</p>	<p>沖縄県内の児童・生徒が使用している教科書で、SDGs に関連した教材を扱い、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す教育を推進します。</p> <p>各教科において、「SDGs 17 のゴール」に関連する教材・題材を掲載することで、児童・生徒に「持続可能な社会づくり」のために、自分たちに何ができるのかを考えさせ、先生方へは SDGs の考えを、日頃から意識して授業に取り組んでもらえるよう普及いたします。</p> <p>弊社の会社理念「なかよし宣言」のコンセプトワード「地球となかよし」にて、国内外の児童・生徒へ、絵や写真、メッセージなどの応募を呼びかけ、SDGs の考えを広く普及しています。</p> <p>下記の3点につきましては、「地球となかよし」を基に取り組んでいる一例です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全について <p>自然環境に恵まれた、沖縄の子どもたちに「地球となかよし」への取り組みを紹介、普及させることで、沖縄の子どもたちが身近な自然環境を守ることが、世界の環境問題を考える契機として SDGs の普及推進を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エネルギー問題について <p>児童・生徒の身近にある教科書がグリーンエネルギーを使って製作されていることに気付いてもらい、世界のエネルギー問題を考える契機とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●質の高い教育の提供・貧困問題について <p>海外教育支援事業として、ミャンマー国へ教科書編集技術の支援を行い、同国の教科書作成に協力することで、世界の子どもたちへの教育支援を実施しています。弊社ホームページ、情報誌等でその活動を紹介することで、教育支援から更に発展して子ども目線で、貧困のない世界について考えてもらいたいと思います。</p>	

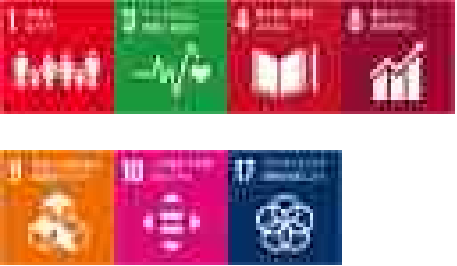
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
27	<p>株式会社 KPG HOTEL&RESORT</p> <p>取締役社長 兼 COO 田中 正男</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●沖縄県が主催する「こども未来プロジェクトへの参画で、児童養護施設の子どもの就職支援、またクリスマスや、夏休みにホテルへ招待し、クリスマス会や BBQ に招待。 ●次世代のホテル経営者を育成する「大樹会」を開催。メンバーは就業する若手スタッフで、ホテルに関する様々な知識を勉強する機会を設けているほか、キャリアアップのためのコミュニケーション研修や、アンガーマネジメント研修など、一般スタッフから役職者までの教育を充実させています。 ●LGBT ウェディングをはじめ、那覇市との共催で「ピンクドット沖縄イベント」のサポート、ALLY 企業として支援活動に取り組んでおります。ホテルでは、LGBT のスタッフの雇用も積極的に行っており、カミングアウトしやすい環境づくりを心がけています。 ●全保連琉球デイゴス（女子サッカーチーム）などへの協賛サポート、また選手の雇用を図り、各ホテルで活躍しています。また、キャリア育成のための「大樹会」から卒業したスタッフも、研修で学んだことを生かし、それぞれが働きがいをもって就業できるよう、卒業後もサポートをいたします。 ●国内外からのインターシップ生の受け入れや、海外人材の雇用を積極的に行っています。性別や人種、年齢、学歴を問わず多様性を受け入れ、斬新なアイデアの喚起、有能な人材の発掘など、広く人材雇用の機会を設けております。 ●地元、琉球大学と連携し、寄付講座を開催。大学生に向けた観光業やサービス業についての講座で、将来的には観光業に携わっていただけるような仕組みを築き上げることを目標としています。またピンクドット沖縄との連携で、LGBT ウェディングの受け入れも行っております。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
28	<p>独立行政法人 国際協力機構（JICA） 沖縄センター</p> <p>所長 佐野 景子</p>	<p>JICA は、2016 年 9 月に SDGs への取り組み方針（※）を策定・公表しました。この方針に基づき、SDGs 達成に直接貢献する事業を実施しています。</p> <p>※【SDGsにかかるJICAの協力の3本の柱】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. JICAは、国際社会の平和、安定、繁栄を目指し、人間の安全保障と質の高い成長を実現する。SDGsは、この理念を加速、推進するものであり、JICAはリーダーシップを発揮しゴールの達成に積極的に取り組む。 2. JICAは、我が国自身と開発協力の経験を活かし、SDGsの10のゴール（右の欄）について中心的役割を果たす。 3. JICAは、SDGs達成を加速するため、国内の知見の活用、国内外のパートナーとの連携、イノベーションを図り、SDGsの達成に向けてインパクトを確保する。 <p>JICA 沖縄では、県内の各種団体、企業、高等教育機関、自治体等に、沖縄ならではの技術や経験を活用してもらい、パートナーシップを組んで SDGs の目標達成に貢献するための連携事業を行っています。</p> <p>《実例》</p> <p>【研修員受入事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● やんばるのエコツーリズムの知見を世界の熱帯・亜熱帯地域に共有 ● 戦後の公衆衛生看護婦の経験を途上国の僻地に適応 ● 離島への電力や水の供給や自然災害への対策を途上国の離島に応用 <p>【草の根技術協力事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平和博物館および平和教育の経験を世界の紛争地域に普及 ● 観光地特有のごみ問題対策の技術を途上国の観光地に共有 ● 泡盛の酒造技術および生産者の組合化を途上国の農村に伝達 <p>【民間連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 島嶼地域における環境に配慮した小型焼却炉を途上国に普及 ● 台風対策としての可倒式風力発電システムを太平洋の島国に導入 <p>【海外協力隊】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 過去 50 年以上の間に 500 名以上の沖縄出身の海外協力隊員が途上国で活動 <p>【開発教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海外協力隊員や研修員が学校・企業等を訪問して途上国の状況を紹介 ● 学校・市民団体等が JICA 沖縄を訪問して途上国の課題や SDGs について学習 	  

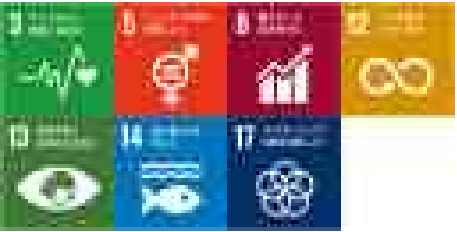
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
29	<p>サンクスラボ株式会社 代表取締役 村上 タクオ</p>	<p>●障がい者の就労を支援する福祉施設の運営 障がい福祉として、パソコンやスマートフォンを活用したデスクワーク業務における障がい者の就労を支援する福祉施設を県内外（沖縄本島を中心に九州の各地）に 10 か所の事業所を運営する。また、就労の支援や育成をした障がい者を就職に繋げることによる企業等の障がい者法定雇用の支援も行う。</p> <p>●障がい児童の療育を行う福祉施設の運営 障がい及び児童福祉として、デジタル時代における社会での自立や生活、義務教育後の就労に向けた障がい児童の療育を行う福祉施設を県内外（沖縄本島を中心に九州の各地）に 9 か所の事業所を運営する。</p> <p>●ルワンダ共和国への IT 関連の就労支援プロジェクトの推進 国際福祉として、開発途上国のルワンダ共和国（東アフリカ）にて、ルワンダ政府の関係機関と協力し、就労支援（IT 関連）のプロジェクトを行う。</p> <p>●韓国と日本のインターネット国際交流プロジェクトの推進 国際福祉として、インターネットを通じ、近くて遠いと感じられている韓国（東アジア）と日本の交流プロジェクトの運営を行う。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
30	<p>一般社団法人 サンビスカス沖縄</p> <p>代表理事 宮城 哲郎</p>	<p>一般社団法人サンビスカス沖縄では、2019年6月に「SDGs宣言」を公表し、今後10年間は「スポーツ×社会貢献」を軸に、これまで行ってきた活動にプラスしSDGsの普及と目標達成に向け、自社のスポーツCSR活動を推進していきます。</p> <p>【経済】 スポーツクラブ設立におけるSDGs普及活動、パートナーシップ制度、カンガルー出勤の導入、サンビスカス先生登録制度、企業・自治体向けSDGs導入研修事業、企業のガバナンス研修及びCSR研修事業</p> <p>【社会】 父親の育児参画型の親子スポーツ普及活動、障害児向けスポーツ普及活動、補欠ゼロ活動、高齢者向け介護予防スポーツ教室の開催、スポーツを通じた居場所作り活動</p> <p>【環境】 ビーチクリーン活動、スポーツウェアのリユース活動、国頭森林トレイルツアー（環境教育）の開催、サステイナブルキャンプの開催</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
31	合同会社 シーナプロジェクト 代表社員 鈴木 志奈子	<p>肉体的・精神的・社会的な健康を求め、世界最先端の技術（世界特許取得）を持つ、某メーカーのモデルサロンを那覇市に開店しました。当社がより社会的責任を果たすべく環境事業部を設立し、地球環境にも貢献できる企業を目指す為に SDGs の推進をしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康・長寿おきなわの構築 生活環境・食環境、温暖化による気候変化等の影響で低体温症の方々が年々増加傾向にあります。人間本来の基礎体温に導き、免疫力を上げることが可能な製品を普及することにより、認知症等の予防もしながら誰もが健康な生活ができるようお手伝いを致します。まずは、沖縄から日本国内、そして世界へと広げていきます。 ●持続可能な循環型社会の構築 人口1万人あたりで飲食店数が日本1位の沖縄は油の使用量が多く、油の廃棄物削減、光熱費の削減、交換によるランニングコスト削減等で企業の経済（経費削減）、効果を高めるお手伝いをします。更に、油の汚れを落とす為に合成洗剤を使用しない、水のみで製造した強アルカリ性洗剤の使用により、水使用量の削減、水の廃棄量の削減で環境への負荷を低減させるお手伝いをしていきます。 ●エネルギー問題 消費者の立場から消費及び廃棄の削減をすることで、製造者側のエネルギー使用量の削減に貢献していきます。 ●地域を支える人材の育成と社会貢献 地球環境と社会環境をテーマに企業及び個人とパートナーシップを結び、共に人材の育成をしながら社会にお役に立てる仲間作りをしていきます。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
32	<p>JAグループ沖縄</p> <p>JA沖縄中央会 代表理事長 普天間 朝重</p>	<p>●沖縄県農業協同組合中央会 本会会員や関係団体、協同組合等とのパートナーシップのもと、広く県民に向けて食や農（林漁業）、環境を切り口としたSDGsの普及啓発に取り組みます。 本県農業の振興、特に基幹作物であるさとうきびの生産振興を通して、生産者所得の向上や離島経済の振興、気候変動対策に貢献します。 役職員一人ひとりが協同組合の精神（相互扶助）のもと、SDGsを自分事として捉えて行動を起こし、シェアすることで取り組みの輪を広げます。</p> <p>●沖縄県農業協同組合 ゴール2「飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する」ため、農作物の生産のサポートや再生産可能な農家所得の実現に向けて取り組みます。 規格外野菜の販売、規格外野菜を使ったドレッシングや弁当の販売を行い、食品ロスの削減に取り組みます。 農家が安心して生産できるよう、特に女性や次世代を担う子供たちへの食育活動や食農教育活動を積極的に行い「食べて応援・作って応援」する消費者の輪を広げます。 子ども支援団体や子ども食堂、社協等へ農産物や手作り味噌の贈呈や、高齢者への生活支援サービス、生きがい活動に取り組みます。 移動購買車「あじまあ号」の運用により、買い物弱者（交通手段を持たない高齢者等）を支援し、地域コミュニケーションの活性化や地域の見守りに取り組みます。 沖縄の豊かな海を次世代につなぐため、畑の周りに緑を植えることで赤土流出の防止に向けて取り組みます。 広報誌「あじまあ」を通じて組合員や利用者へSDGsの普及啓発を行います。</p> <p>●全国共済農業協同組合連合会沖縄県本部 幼稚園・保育園児を対象とした交通安全啓発ミュージカル、小・中学生を対象とした交通安全ポスターコンクールの開催、交通安全資材の贈呈等の交通安全に関する普及啓発を通して、交通事故による死傷者を減らします。 子ども支援団体へ食料品を贈呈し、沖縄県の子どもの貧困問題に貢献します。 県内スポーツ大会の開催を通じて、スポーツが持つ寛容性と尊厳（スポーツマンシップやフェアプレー等）による平和への寄与や健康増進、教育のほか、女性や若者、個人やコミュニティの能力強化に寄与します。</p>	

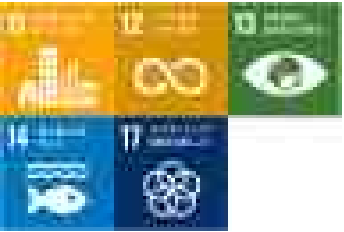
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
33	NPO 法人 自然体験学校 理事長 若林 伸一	<p>個人のお客様から修学旅行など団体の受け入れまで、行政・地域住民・事業者などと連携した「観光まちづくり」事業を行っています。県外修学旅行の民泊事務局、平和学習（ガマ体験）、自然体験など、地域資源を活かした体験のコーディネート事業、人材育成事業をしています。</p> <p>SDGs への主な取り組みは以下となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光まちづくり事業 全国で少子高齢化が進み、中山間地域では主産業が「観光」へとシフトしています。当団体が行う「観光まちづくり」を通じた地域課題解決の方法を考えます。 ●平和学習の受け入れ 沖縄南部は特に戦闘が激しかった地域であり、ガマや戦跡が今でも多く残っています。そうした沖縄戦の爪痕や戦後米軍統治下の時代、現在の基地問題まで、平和について学べるプログラム（ガマ入壕・講話・平和劇・フィールドワーク・ディスカッション）を提供しています。 ●自然体験 沖縄から世界の自然との関わりを知り、観察とグループワークを通じて持続可能な自然への理解を深めるため、自然体験の提供をしています。 ●教育旅行民泊の受け入れ 当団体が行う民泊の主体はそこに暮らす住民の方々です。沖縄南部の一般の家庭で過ごす、「いつもの暮らし」の中には、学校では学ぶことが出来ない気付きがあります。 	

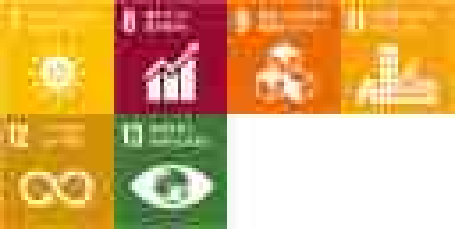
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
34	一般社団法人 ジョブリッジ研究所 代表理事 赤嶺 久美	<p>●健康・長寿おきなわの推進と雇用環境の充実 従業員の健康的な生活を確保するために、年1回の健康診断受診や年次有給休暇取得率100%を継続するとともに、男女問わず育児目的休暇等の取得を積極的に活用し、子育て世代の働きやすい環境づくり（ワークライフバランス）、仕事と家庭及び地域活動との両立への支援、さらに女性の活躍支援としてより充実した所員研修に取り組みます。</p> <p>●キャリア教育の充実 これからの予測困難な社会変化を見据え、子どもたちが多様な個性を發揮し、沖縄の未来を拓いていく力を育むことを目指し、小中高を中心に各段階に応じたマナー学習やワークショップなどのキャリア教育プログラムの提供、実施をします。</p> <p>●持続可能なまちづくり 子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、その地域「らしさ」を生かした地域社会の新たな価値を創造できるような人材の育成を目指し、地域の企業、関係機関など多様なパートナーと連携しながら地域の歴史や文化、産業、仕事などを学ぶことができるプログラムを実施します。</p> <p>●自然環境の保全 情報通信機器を活用した仕組みを活用することで、紙使用削減を徹底し、発生した紙資源については古紙回収し再生紙となるように業者に搬入します。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
35	<p>株式会社 セブン-イレブン・沖縄</p> <p>代表取締役社長 久鍋 研二</p>	<p>セブン-イレブン・沖縄は、加盟店様とともに緊密に連携しながら社会や生活環境の変化に合わせ、絶え間ないイノベーションを続けています。今後もより一層の地域活性化と皆様に喜ばれる商品やサービスの提供に取り組むとともに、県内における循環型社会の実現を目指して、さらなる環境負荷低減を推進し「近くて便利」なお店作りを進めてまいります。</p> <p>① 環境配慮への取り組み ごみ問題・環境対策・沖縄の豊かな自然を保護する取り組み 【主な取り組み】 店舗での 20kw 太陽光発電の導入・配送車に環境配慮車両の導入・店舗での省エネ設備の導入 バイオマス 30%レジ袋使用・紙製ストローの使用・バイオマスカトラリーの使用・PET ボトル回収機の設置・セブン-イレブン店舗周辺の清掃活動など</p> <p>② 社会インフラの構築 安全・安心な拠点として、様々な取り組みを通じて地域に寄り添う「なくてはならない店」を目指しています。 【主な取り組み】 行政文書発行サービス（3/13～県内全市対応） セーフティステーション活動（女性・子供の駆け込み対応）、沖縄県「子ども 110 番の家」など</p> <p>③ 社会貢献 【主な取り組み】 高校などへの出前授業・県内スポーツ団体・環境保護団体への支援 児童養護施設への支援 など</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
36	<p>大和リース株式会社 沖縄支店</p> <p>支店長 萩田 一</p>	<p>大和リースは、循環型のリースビジネスを原点に、「会社は社会の公器である」「何をすれば儲かるかではなく、将来にわたり世の中の人々が何を求めているかで事業を起こす」といった創業者精神を継承し、社会の課題を解決する商品やサービスを提供しています。</p> <p>大和リースは、「SDGs」に合致する企業理念のもと、既存事業を基盤として、世界の共通課題を視野に入れ事業領域の拡大を図るとともに、イノベーションを駆使して経済・環境・社会の諸課題を解決する新たな事業を創出し、社会の包摂的な成長に貢献します。</p> <p>環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー事業による地球温暖化防止 7.2 ・都市緑化・ZEB 対応による環境配慮型施設の推進 7.3 9.4 13.1 ・循環型社会の拠点となる商業施設の開発・運営 9.1 12.8 <p>安全安心な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災・防犯活動の拠点となる商業施設の開発・運営 11.3 11.7 ・災害発生時の迅速な応急仮設住宅建設による復興活動 11.b ・安心・安全なモビリティ社会の実現・農業 ICT による人材不足問題の解決 11.2 11a <p>地方創生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設を中心に地域の課題を解決する 8.3 11.3 ・公民連携・エリアマネジメントによる地域活性 8.9 11.3 11.a <p>海外展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途上国低所得者向け住宅供給による途上国住宅問題の解決 11.1 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
37	<p>社会保険労務士法人 T I S</p> <p>代表 社会保険労務士 玉城 巖</p>	<p>●人事評価制度及び外国人技能実習生向け就業規則の作成・労働法関連セミナー開催 経営者向け労働法関連セミナーを実施し、企業経営層の意識改革を促す事で働きがいのある職場づくりに寄与している他、雇用形態に関わらず同一労働同一賃金を達成するために必要な人事評価制度の作成や経営者向けへの周知、雇用環境が不安定な外国人技能実習生が安心して働けるように外国人技能実習生用の就業規則の作成を行っています。</p> <p>●子どもの貧困対策・女性活躍促進・年金制度普及活動 沖縄タイムス社が主催する沖縄子ども未来プロジェクトへの寄付を通じて沖縄の子ども4人に1人が貧困状態であることの改善を支援している他、女性のキャリア継続を目指し、働きやすい職場づくりの一環として子育て・不妊治療中の女性が休暇を取りやすい環境づくりをしています。 又、障害年金個別相談会を毎週木曜日に無料で実施し、障害を持ちながらも安心して生活を営めるよう支援を行っています。</p> <p>●自然環境の保全 自社で使用する電気は、再生可能エネルギーである太陽光エネルギーを利用するため、太陽光パネルを自社ビルの屋上に設置している他、すべてLED電球を使用しています。又、書類を極力印刷せず、電子文書化し、ペーパーレスを促進しているため、紙の使用がほとんどありません。代表自身が環境問題への啓発を職員に行うと同時に自主的にビーチクリーンなどに参加しています。</p>	




おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
38	<p>トーラス株式会社 代表取締役社長 福地 博之</p>	<p>●人と自然の調和 沖縄の大切な自然を守りながら、人々の豊かな暮らしを支えることを目標に、企業理念に「人と自然の調和」を掲げています。</p> <p>●低炭素島しょ社会の実現 太陽光発電・蓄電システム・オール電化製品の販売・施工・保守を通して、再生可能エネルギーの普及やエネルギーの効率利用に尽力し、地球温暖化問題の原因である温室効果ガスの削減、低炭素社会の推進を呼び掛けています。 また、ホームページでの環境関連情報の発信や、顧客への定期的なエコライフ通信を郵送することなどを通して、読者に環境問題に対する意識の向上を図っています。</p> <p>●パートナーシップによる SDGs 推進 沖縄の産業まつり、オキナワベンチャーマーケット、JICA おきなわ SDGs パートナーズ形成プログラムなどへの参加を通してパートナーシップでの SDGs 推進を目指します。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
39	株式会社 渡久山設計 代表取締役 運天 勲	<p>私たちが行う設計業務は、経済・社会・環境・文化と密接に関わり、その活動が社会にもたらす多様性や豊饒性は SDGs の理念に紐づきます。今後も SDGs を意識した取り組みを積極的に行い、さらなる地域貢献を目指します。</p> <p>■ 「豊かな人間力の育成」「自然との共生」を推進 特に子どもが関わる施設では、知力・体力を育て人間関係を豊かにする「遊びの発展」を促す環境づくりに努めています。さらに、既存樹木の利用や植樹の実施、循環型・低炭素社会の実現を見据え「自然との共生」を図ります。</p> <p>■ 優しい建築「木・育—MOKUIKU」プロジェクトを実施 子どものための空間にこそ、木の温もり、香り、感触が必要と考え、建物の木造・木質化による優しい建築「木・育—MOKUIKU」プロジェクトを推進しています。県内にて大規模な木造の保育園を実現しました。また、沖縄県が掲げる「公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」を意識し循環型社会の実現を目指します。</p> <p>■ 障がい・世代を超えた「共生のまちづくり」を推進 ソーシャルインクルージョンの実現を視野に、だれもが差別なく地域とかかわり、生き甲斐を見つけられる施設・拠点づくりを目指しています。行政・民間・NPO などの多様な協働により、人口減少・少子高齢社会に対応した環境整備に取り組みます。</p> <p>■ 「地域コミュニティの醸成」に貢献 自然・歴史・文化など地域や土地が持つ価値とそこに住む人々の活力を発掘・分析し、地域の魅力づくりに努めます。今後ますます必要性が高まる「多様な交流活動」を促す設計により地域活性化・観光振興・住民協働の促進に寄与します。</p> <p>■ 環境へ配慮・地域美化に貢献 ペーパーレス化、リサイクル、節電・節水、緑化、地域清掃ボランティア等、環境への配慮や地域美化に努めています。</p> <p>■ 社員の「生活と仕事の調和」 & スキルアップを支援 育児・介護休業、子の看護休暇、育児中の在宅勤務、フレックスタイムを導入するなど社員の多様な働き方に対応しています。また、技術やヒューマンスキル向上のための研修費・視察費の支援を経営方針の一つに掲げています。</p>	

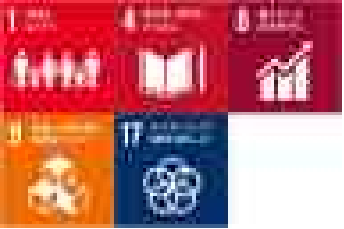
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
40	<p>トランスコスモス株式会社</p> <p>代表取締役社長兼 COO 奥田 昌孝</p>	<p>●地域経済の発展と地域社会との共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内事業を通じた雇用機会創出 ・教育訓練機会の創出/提供 ・「NAHA マラソン」ボランティア派遣 ・「沖縄マラソン」ボランティア派遣 ・「沖縄全島エイサーまつり」ボランティア派遣 ・「ウォーキング大会」継続 <p>地域経済の発展と持続可能性確保のための活動を推進/継続してまいります。</p> <p>●ダイバーシティ&インクルージョン推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老若男女、国籍問わずに雇用の場を創出 ・働き方改革推進、女性活躍推進、社内託児施設(キートス)運営 ・子供職場見学会の開催 <p>地域の皆さまをはじめ従業員/ご家族の働きやすい環境構築を推進してまいります。</p> <p>●環境保全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット活用によるペーパーレス化の取り組み ・「ビーチクリーン活動」の継続実施 ・「ハイビスカス植樹祭」ボランティア派遣 ・「ヤンバルクイナ保護活動」への協力継続実施 <p>地域環境の保全・維持を目指した活動を推進/継続してまいります。</p>	  




おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
41	株式会社 南西環境研究所 代表取締役 田中 順一	<p>当社はSociety5.0(超スマート社会)において「沖縄21世紀ビジョン」の将来像の実現に向け、5Gの利活用を図り、以下に示す主な業務を通して、「沖縄県SDGs推進方針」に基づいたSDGsの理念である17のゴールの推進に貢献していきます。</p> <p>●質の高い教育をみんなに >環境への関心を高め、必要な知識・技術・態度を修得させる教育活動を実施します。</p> <p>●安全な水とトイレを世界中に >水質分析等を通して、水環境の保全・再生及び持続的利活用に取り組んでいきます。</p> <p>●働きがいも経済成長も >ワークライフバランスの取組みを推進するとともに、設備投資等による業務の円滑化・効率化等により、労働生産性の向上を図っていきます。</p> <p>●住み続けられるまちづくりを >アスベスト(石綿)の採取・分析、シックハウス測定、廃棄物分析、土壌汚染調査・土壌分析などを通して、住み続けられるまちづくりに貢献していきます。</p> <p>●気候変動に具体的な対策を >温室効果ガスの排出の抑制等を総合的かつ計画的に進めることを目的とした「沖縄県地球温暖化対策実行計画」などに取り組んでいきます。</p> <p>●海の豊かさを守ろう >赤土等流出による陸域からのサンゴ礁生態系(サンゴ、マングローブ、藻場、干潟等)への負荷を低減させ、水産業・観光業等の産業の発展に貢献していきます。</p> <p>●陸の豊かさも守ろう >植物、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、甲殻類、昆虫類、魚類、底生動物等の調査、外来生物の駆除・根絶等を通して、陸域の環境保全に取り組んでいきます。</p> <p>●パートナーシップで目標を達成しよう >万国の津梁としての役割を担い、「日本とアジア・太平洋地域をつなぐ架け橋」になる責務を果たすとともに、開発途上国への寄付・支援を行っていきます。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
42	<p>日本電気株式会社 沖縄支店</p> <p>支店長 吉村 昇</p>	<p>沖縄県内での主な取組</p> <p>1) IoT基盤利活用による県内の経済生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際通りでの人流分析の実証事業や久米島町での在宅介護サービス利用者の睡眠状況見える化実証事業等のIoT, AIを活用したイノベーションを通じて県内での経済生産性の高い事業の創出を支援しております。 <p>2) 子供向けの社会学習の実施とプログラミング教室の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育格差の負の連鎖を断ち切り、社会で活躍できる子供を育てるため、NPO 法人エンカレッジ及びNECソリューションイノベータ沖縄支社と連携し、貧困家庭の子供を対象にしたプログラミング教室を実施致します。 <p>3) 沖縄オープンラボラトリを通じた先端基盤技術の研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、沖縄オープンラボラトリでの先端技術の研究活動を通して次世代ICT技術の普及、実用化を支援して参ります。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
43	<p>日本トランスオーシャン 航空株式会社</p> <p>代表取締役社長執行役員 青木 紀将</p>	<p>【経済】 ■多様な働き方の整備（雇用形態の更なる拡大）・LGBT 対応の推進。 人種・国籍・出身地・宗教・信条・障がい・年齢・性別・性的指向・性自認・価値観や働き方などの多様性尊重の活動を積極的に推進し個性が相互にインスパイアしつつ常に新しい価値を生み出していくける環境の継続的な整備。</p> <p>【社会】 ■全客室乗務員のサービス介助士取得に向けた取り組み 特に離島路線などは生活に密着した路線であり様々な利用目的のお客さまに安心してご搭乗いただける環境の構築。 ■沖縄県内の学校法人との包括連携協定締結と寄付講座の開講の継続 人的・知的資源の交流と活用を図り、包括的な連携のもと教育、研究などの分野において相互に協力し、社会の発展と人材育成及び学術研究の振興への継続的な寄与。 ■地域の課題解決への取組み ・脱プラの目的で、一部路線において「木のストロー」の機内サービスをしているが、今後は國頭村の林業の活性化及び沖縄県木材の認知度向上を目的に沖縄木材の「木のストロー」を提供予定。現在開発中。 ・生態系の変化によるサンゴの減少が課題として挙げられる。サンゴ減少に伴う「漁獲量の減少や観光客の満足度下落」の改善を目的にサンゴの再生プロジェクト事業に参画する。他企業とのパートナーシップの橋渡しや広報的な観点からも支援を図る。 ・県の基幹農業であるさとうきびの認知向上を目的として、バガス利用認知向上や、沖縄黒糖ブランド力を更に向上させ消費拡大を図ることを検討。県内さとうきび生産者の経済的発展や雇用の創出にもつながることを期待。</p> <p>【環境】 ■CO2 排出抑制への取組み（消費燃料削減） 着陸後片側のエンジンを停止させて残りのエンジンの推力で地上走行する「EOT」（Engine Out Taxi）の実施。 航空機が地上滞在中には機内温度の上昇を抑制し、エンジン始動を遅らせることを目的に窓の日よけをクローズ。 ■世界自然遺産登録推進のための各種活動 候補地の除草・クリーンアップ活動やセミナーなどの啓蒙活動等について共同企業体の代表企業として当活動を牽引。登録後は環境保全の実現とともに、付帯事業の運営から雇用の創出にもつなげたい。</p>	  


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
44	<p>日本郵便株式会社 沖縄支社</p> <p>支社長 比嘉 明男</p>	<p>●<u>地域社会の発展、活性化</u> 県内全ての市町村に郵便局を設置（郵便局が唯一の金融機関である有人島 12 島を含む）し、地域の生活をサポートするユニバーサルサービスを提供しています。また、郵便局窓口での証明書交付事務の実施や自治体が発行する各種公的証明書を取得できるマルチコピー機の設置等、地域の利便性確保・向上に取り組んでいます。</p> <p>●<u>次世代育成</u> 郵便局職場体験や国が実施するプログラミング学習の受入れ、手紙の書き方教室の開催を通じて未来を担う子どもの育成に取り組んでいます。</p> <p>●<u>子どもの貧困対策</u> 郵便局ロビーにフードボックスを設置し、地域住民から提供いただいた食品を子どもの居場所へ寄付するフードドライブや県内の子どもの居場所等へ企業から寄付を頂いた食品の配布等を行う「おきなわこども未来ランチサポート」を、関係者と連携し、実施しています。</p> <p>●<u>温室効果ガス排出量の削減</u> 気候変動や地球温暖化に配慮した持続可能な社会を実現するため、環境に配慮したハイブリッド車、電気自動車を配備し配達業務に活用しています。また、OCVB と連携し、電動アシスト自転車（ちゅらチャリ）のサイクルポートを設置し、観光客・県民の利用や交通渋滞緩和に協力しています。</p> <p>●<u>人材の育成、働き方改革</u> 個性や能力を十分に発揮しながら、働きやすく、働き甲斐があり、働き続けられるよう、ダイバーシティマネジメントの推進や人材の育成に取り組んでいます。「女性役職者向けキャリアアップセミナー」や育休取得中および取得予定の社員を対象とした「ベビママミーティング」、従業員だけではなくその家族の健康・幸せを実現するため、「時間外労働の削減」や従業員の子ども向け職場見学を実施しています。また、障がい者雇用の推進にも積極的に取り組んでいます。</p> <p>●<u>世界自然遺産の保全・普及啓発</u> 世界自然遺産登録地をはじめとする沖縄県内での環境保全・地域振興活動を目的とする世界自然遺産推進共同企業体（沖縄県後援）へ参画（副代表）。希少野生生物の郵</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

		便局の壁画デザインや交通事故（ロードキル）対策のぼりを掲出、ビーチクリーン活動等を通じて、世界自然遺産の普及啓発や自然環境の保全に取り組んでいます。	
No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
45	ブルーテック株式会社 代表取締役社長 平安 正人	<ul style="list-style-type: none"> ●フードロスの削減 農水産物を加工する食品工場で廃棄される「残渣」や「搾りかす」、および農業で市場へ出荷されなかった「規格外品等」を原料として使用し、自社の特殊加工技術で栄養素や風味を保ったままの高付加価値粉末を製造することで、廃棄場に送られる食材の削減に取り組めます。 ●農家の収益改善 市場で価値のない農水産物を高付加価値粉末の原料として買い取ることで、一次産業者の収益改善に貢献します。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
46	株式会社 プロトソリューション 代表取締役社長 白木 享	<p>●次世代育成 沖縄の未来をより豊かなものにするためのスキルと志を持った次世代の IT 人材を育成するため、エンジニア育成コミュニティの拡大・発展やスタートアップ支援、子どもたちへ IT の楽しさを伝えるイベント支援・企画運営に取り組みます。</p> <p>●よりよいコミュニティ・社会づくり データと AI を活用し、生産人口の減少問題解決を目指します。沖縄での観光客の周遊・渋滞緩和・環境への配慮を目指すシェアサイクルを始めとする MaaS 事業の推進、住まいに関するソリューションを通じた地域創生への取り組み、他企業とのパートナーシップによる地域経済の活性化、クルマ関連メディアを媒体とした交通安全への啓蒙に取り組みます。</p> <p>●ダイバーシティの推進 障がい者雇用の促進、女性活躍・多様性受容の推進、社員一人ひとりの「個性」を重視したキャリアプログラムの実施により、雇用の場の創出を目指します。</p>	

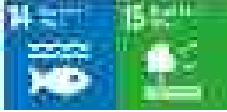



おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
47	一般社団法人 プロモーションうるま 代表理事 中村 薫	<p>「100年後のうるまを作る」を事業コンセプトにうるま市のまちづくり会社として活動しています。官民連携や自主事業などの地域活性化事業を始め、公共施設の指定管理、観光・物産・イベント開発販売事業、人材育成事業など様々な事業を行っています。2018年には経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定されました。</p> <p>●しま未来プロジェクト：うるまの島々の持続可能性向上に向けて 高齢化過疎化が進むうるま市島しょ地域において、前進の団体から通産して8年間活動を展開しています。平安座島、宮城島、浜比嘉島、伊計島、津堅島の5つの島々には素晴らしい自然や文化が残り、そうした資源を活用し、移住促進、クラフト市、商品開発など多面的に展開し、島の未来づくりに取り組んでいます。</p> <p>●暮らしをつくる：健康とおいしいを支える 健康と食が生活の豊かさの源という信念のもと、うるま市健康福祉センター運営によるQOL向上、うるま市農水産物直売所「うるマルシェ」から、うるまらしい豊かな暮らしづくりに取り組んでいます。</p> <p>●まちの営みをつくる：地域に根ざしたコトづくり 地域の文化や歴史を活かした仕事づくり、高校生の職業体験コーディネート、うるま市いちゅい具志川じんぶん館運営による一般の方向けのスキルアップセミナーなどの地域人材育成、うるま市の魅力を伝えるメディア運営など、地域に根差した仕事づくりに取り組んでいます。</p> <p>【SDGs 推進に向けて】 ・弊社には NPO 法人イマココラボ公認 SDGs ファシリテーター：田中啓介が所属しており、企業研修やイベントなどでカードゲーム「2030SDGs」の開催も可能です。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
48	ホールアース自然学校 沖縄校 がじゅまる自 然学校 代表 小林 政文	<p>●環境教育活動 SDGsの達成のためには行動できる人材の育成が必須です。 我々の実践する環境教育は自然や文化、歴史を体験し、それらへの関心を高め、参加者自身の意識や行動の変容につなげる活動です。 多様で特異な環境の残る沖縄を舞台に学び方を学ぶ教育を続けていきます。</p> <p>●環境保全活動 沖縄の自然や文化、歴史などの環境を未来につなげていけるように活動します。 県知事認定保全利用協定を結ぶなど、保全と利用のバランスを考えた事業を実践しながら保全活動も実施していきます。</p> <p>●指導者連携・指導者育成 沖縄県内各地でSDGsや地域活動、環境教育活動等に取り組むリーダーとともに活動を進めていけるネットワークづくりに努めます。また、活動や地域を牽引していくリーダーを育成し、互いに協力し合って、持続可能な社会の構築に貢献していきます。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
49	街クリーン株式会社 代表取締役 赤嶺 太介	<ul style="list-style-type: none"> ●当社は沖縄県各市町村（離島含）からの海岸漂着ゴミ、不法投棄ゴミを積極的に受入、処理を行っており、行政主催の不法投棄撤去等のボランティア活動にも毎年参加しており、自社においても毎月2回道路等のゴミ拾いに取り組んでおりゴミの削減を目指します。 ●地球温暖化の影響によりサンゴ白化現象の深刻さを考え、社内の自動販売機売上の一部をサンゴ植付支援に取り組んでおり海の豊かさを守る企業を目指します。 ●障害者雇用の取り組みや、健康で働く意欲のある高齢者の受入や継続雇用を推進し、永続的に働きがいのある企業を目指します。 ●海外からの弊社処分場視察の受入を毎年行い、廃棄物処理・リサイクルの技術を支援し発展途上国への技術の支援を推進します。 	   





おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
50	社会福祉法人 松信福祉会 理事長 松原 正太	<p>●子育て世帯のセーフティーネットの充実</p> <p>沖縄の未来を担う子どもたちが夢や希望を持ち健やかに生まれ育ち、豊かな可能性を発揮できる社会を実現するため、地域における共働き世帯や一人親世帯等、多様化する子育て世帯のセーフティーネットを整備します。これにより、労働者が安心して働き続ける環境が整備され、沖縄の経済を支える企業等の人材不足解消が期待されます。具体的な取組として、地域の子育て世帯を対象に、特別な理由により家庭での保育が一時的に困難な状況にある幼児を対象に一時的な預かり保育(自主事業)を実施しています。取組実績として、当保育園を卒園し幼稚園へ進級する幼児を対象に4月1日～幼稚園の預かり保育が開始するまでの期間、必要な保育を行い保護者の継続した就労環境を支援します。また、家族の介護や入院等、緊急に保育が必要な場合、利用枠に余裕がある際は(定員・保育士の確保)、期間を定め通常保育時間内での保育を提供します。ニーズがあれば他市町村からの受け入れも検討します。</p> <p>松信福祉会は人と人との繋がりを大切に、個々のライフスタイルに合わせた生き方を尊重します。子どもを取り巻く環境や集団が抱える問題にエンパワメントサポーターとして関わり、法人理念にある“地域の一人ひとりが豊かに自己実現できる環境づくり”を目指します。また、近隣セクターと連携し、子ども・高齢・障害・生活困窮など多岐にわたる課題に早期対応ができるよう総合福祉相談窓口を設置し、ネットワーク構築にも積極的に取り組んでいます。問題の早期発見・対応は子どもの最善の利益の確保に繋がります。今ある社会資源を活用し、多様化する時代背景とともに社会資源を開拓するなどし、沖縄の明るい未来を創造する子どもたちの自己肯定感を育む場の創出と、子育てへの不安を抱く保護者へ寄り添い共に育ち合う環境を創り、両者の自己実現に向け中心的な役割を担います。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
51	株式会社 薬正堂 代表取締役 宮里 敏行	<p>◎公共事業、福祉施設等への寄付、被災地への義援金活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本赤十字社」、「赤い羽根募金」への寄付 ・「沖縄こども未来プロジェクト」への寄付 <p>◎交流と共創による農村漁村の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低カリウム野菜の販売（農家とコラボ） <p>◎薬事衛生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働大臣が定める一定基準を満たした「健康サポート薬局」に3店舗適合、環境を整え普及促進 ・健康相談会・ファミリーフェスタ開催 <p>◎福祉セーフティネットの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策推進総合戦略（オレンジプラン）への参加 <p>◎在宅医療実現のフォロー 沖縄県民ニーズに即した保健医療サービスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬局内に「感染症待合室」を設置し、インフルエンザ等の感染症予防を実施 ・「無菌室」を設置し、入院する事なく家で治療を継続する事が可能になる ・在宅療養で家族に見守られながら最期を看取る環境づくりを支援する <p>◎教育機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県内出身 薬学生への奨学金支給 <p>◎インターンシップの受け入れ</p> <p>小・中学校、専門学校の学生に対して就業体験の機会を設け就業意識の向上、自分の適性や進路を見極め仕事に対する理解を深めることを目的とし受け入れています</p> <p>◎女性活躍推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社のキャリア促進は、主任以上・係長以上の女性の割合が「男性20%女性80%」 <p>◎女性が働きやすい環境整備の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様なワークライフスタイル実現のための支援制度を設けています ・テレワーク制度の導入、・育児短時間勤務制度、・時間単位の有給休暇制度の実施 <p>◎環境保全の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗環境負荷低減を目指し、新規開局・改装店舗にてLED照明を積極的に採用 ・エアコン設定温度の制限 ・執務室・バックヤードの消灯や営業時間外の照度調整により環境負担低減に努める ・廃棄物の削減 薬剤の自動発注システムによる適正な在庫管理に努める <p>◎パートナーシップ「スポーツアイランド沖縄」の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他スポンサー企業とリソースを出し、協力しながら課題に対応 	




おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
52	<p>大和コンクリート工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 比嘉 希</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からデータヘルス計画として、メタボリック症候群もしくは予備軍のメンバーの体重管理を実施している。また、沖縄労働局が推奨する「ひやみかち健康経営宣言」に登録、働く人の健康増進の為スマートウォッチを配布、これからも働く人をサポートします。 ・「みんなでグッジョブ運動(令和元年沖縄県より受賞)」、「はばたく中小企業小規模事業者 300 社(平成 30 年経済産業大臣より受賞)」等で受賞した取組みとして、「連続休暇制度」を年に 1 回活用、「7 時間労働」による充実した日常生活を送り、快適職場の実現と働く人の幸福を推進します。更に週休 3 日を目標とした働き方改革に取り組めます。 ・「一年一作」を基盤としたお客様のニーズを掴み、社内で解決のためのアイデア、創意工夫を凝らして新商品及び技術開発へと繋げて、地球環境にやさしい製品作りを目指します。 ・2005 年に ISO14001 認証取得し、環境負荷の低減の取組として、地球温暖化対策である「チームマイナス 6%」への参加、又近年では電気給油システム導入による重油削減と CO₂ 排出削減など、ISO14001 を基盤として自然環境を保全します。更に電気設備の LED 化など、地球にやさしい工場設備の導入を推進します。 	   


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
53	<p>吉本興業ホールディングス株式会社</p> <p>代表取締役社長 岡本 昭彦</p>	<p>●SDGs の普及に向けた取組 所属タレントを起用し、エンターテインメントを通じた SDGs の入門発信・啓発活動。SDGs 17 項目を統合的に啓発する取り組みとして、国連広報センターと協力し、所属タレントを起用した PR 動画を制作。 また、SDGs を遊びながら学べるタレントスタンプラリーを実施。17 の目標を「自分たちの身近なこと」に置き換え、スタンプを集めながらゲーム感覚で SDGs に触れる機会を提供した。 その他、吉本新喜劇、漫才、大喜利、ワークショップなど、様々なコンテンツと SDGs のコラボレーションを進め、主催イベントをはじめとした様々な場で発信している。</p> <p>●地域や自治体と連携した地元振興 PR 2011 年 4 月より、「あなたの街に住みますプロジェクト」として、全国 47 都道府県に「住みます芸人」を居住させ、笑いの力による地域活性化のお手伝いを継続している。 また、「ふるさとアスリート」の取り組みでは、プロやアマチュアのトップアスリートから、障がい者アスリート、スポーツ経験がある一般の方までが、スポーツを通じて地域スポーツを担う人材の養成・活用をすすめている。 沖縄国際映画祭では「JIMOTO CM REPUBLIC」を開催。全国 46 都道府県、沖縄県 41 市町村、海外部門を対象として、発案者や地元の方々から「みらいへつなぐ、じもとのちから」をテーマに、SDGs のゴールとひもづく CM 案を募集。各地の CM を一緒に作りあげ、継続的に地方の魅力を伝えている。優秀作品は、メディアを誘致して取材して頂くことで、日本全国、世界にメッセージを発信していく。</p> <p>●ソーシャルイノベーション事業の立ち上げ ユヌス・よしもとソーシャルアクション（株）を設立。住みます芸人による地域課題からソーシャルビジネスへのヒントを見出し、各地域で事業がスタート。</p> <p>●未来世代の成長と活躍の場、活動の拠点を創出 沖縄ラフ&ピース専門学校を 2018 年 4 月に開校。エンターテインメントを通じて世界の懸け橋となる人材を育成。教育分野を中心としたコンテンツを配信する国産プラットフォーム事業「Laugh&Peace_Mother」を設立。最先端の技術も活用し、子供たちが、映像コンテンツやゲームなどを楽しみながら学べるようなサービスを提供する。</p>	   


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
54	リコージャパン株式会社 販売事業本部 沖縄支社 支社長 大田 喜浩	<p>リコージャパンでは、SDGs を経営の中心に据えています。SDGs が掲げている 17 のゴールに対して、5 つのマテリアリティを設定し、「事業を通じた社会課題解決」「経営基盤強化」「社会貢献活動」の 3 つのアプローチで活動を展開しています。更に社員一人ひとりが SDGs を自分ごととして、お客様へも SDGs を拡げて行くことを目指しています。</p> <p>※5 つのマテリアリティ ① 生産性向上 ② 知の創造 ③ 生活の質の向上 ④ 脱炭素社会の実現 ⑤ 循環型社会の実現</p> <p>●沖縄県やんばるの森保全活動“チョウの棲む里づくり” 2016 年からやんばるの森がある大宜味村で「里山バタフライガーデン」の活動を多くのステークホルダーの方々と一緒に活動し、たくさんの蝶や生物が集まり、自然豊かなやんばるの魅力をより一層引き立てています。また村内の自然観察クラブの子供たちの研究・活動にも繋げています。</p> <p>●子供たちの科学力育成事業 沖縄市サイエンスフェスタで「コピー機になってみよう」を出展、沖縄こどもの国との共催による、おおぎみカガクあそびフェスタで「360 度カメラとあそぼう」を出展し、子供たちが科学に楽しく触れる機会を提供しています。 社員もボランティアとしてサポートし、子供たちに科学を楽しんでもらえるように活動に取り組んでいます。</p>	  


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
55	株式会社琉球銀行 取締役頭取 川上 康	<p>●新産業の創出 沖縄タイムスや県内外の起業家支援機関と連携し、沖縄から革新的で競争力のあるベンチャー企業（スタートアップ）の創出・育成プログラム「OKINAWA STARTUP PROGRAM」を実施しています。本プログラムの参加企業（チーム）には、琉球銀行および県内外の起業家支援機関によるビジネスプランの熟成のメンタリング等を行い、事業化が見込まれる優れたプランに関しては、BOR ベンチャーファンドからの出資やパートナー企業とのマッチング等のサポートを実施しています。</p> <p>●キャッシュレスアイランドへの取り組み 2015 年 10 月より発行を開始した「りゅうぎん Visa デビットカード」の発行枚数は 12 万枚を突破し（2019 年 9 月末）、2017 年 1 月より開始した「りゅうぎんカード加盟店サービス」においては、商工会議所・観光協会等の各種団体との提携により加盟店開拓を推進しています。これら「キャッシュレスアイランド」の実現へ向けた取り組みは、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部から 2018 年度の「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」として選定され、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）より表彰されました。</p> <p>●貧困対策 「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993 年に琉球銀行の創立 45 周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、更に同額を銀行が寄付することで基金を造成します。「りゅうぎんユイマール助成会」では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は 1,117 件、2 億 1,504 万円（2020 年 2 月末）となっています。</p> <p>●「国場川水あしび」へのボランティア派遣 国場川水系の各河川は水鳥が多く飛来し、特にその河口の漫湖はラムサール条約に登録された国際的にみても重要な湿地帯です。残された貴重な自然や水辺を守り、環境保全活動への理解を深めるために、琉球銀行から「国場川水あしび」にボランティアを派遣し清掃活動を実施しています。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
56	国立大学法人琉球大学 学長 西田 睦	<p>●SDGs に関する研究の推進 琉球大学は、SDGs の実現を支える知識とソリューションを提供するために、大学内の各研究者の研究活動が SDGs の様々な目標とどう関連しているかを可視化するとともに、SDGs 達成に貢献する研究の推進・支援を行っていきます。</p> <p>●SDGs 達成に貢献する教育の推進 琉球大学は、現在及び将来に SDGs 達成に貢献する人材を育成するために、SDGs 達成に貢献する教育実践に向けたセミナーの開催、SDGs 科目の開講、自ら主体的に考え行動する能力を引き出す SDGs 教育を行っていきます。</p> <p>●SDGs 達成と社会貢献の推進 琉球大学は、社会実装における分野横断的リーダーシップを提供するために、地域との協働事業と SDGs との対応状況の可視化、留学生、地域、海外と交流するための SDGs 教育、誰一人取り残さない教育、貧困問題への取り組みを行っていきます。</p> <p>●組織ガバナンス、運営を通じて SDGs の原則を具現化 琉球大学は、ダイバーシティの取り組みによる SDGs への貢献のために、女性研究者支援及びダイバーシティ推進事業の実施、ハラスメントのない「多様性と包摂性」に富んだキャンパスコミュニティの実現に取り組んでいきます。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
57	株式会社 Rewso 代表取締役 中町 匡志	<p>①SDGs 2030 アジェンダ・OKINAWA として、沖縄県離島環境観光コンテンツのプログラム型アプリ開発を実施する。 SDGs のアイコン等を活用し、自社取組を含め、SDGs の認知度を高める情報発信を行う。（ホームページ、機関誌、パンフレット、展示会への出展参加等）</p> <p>②石垣島での沖縄型オープンイノベーション創出促進事業の「CO2 排出削減自動電算アプリ開発分野での観光輸送・観光用移動体」の社会実装を、令和2年度から、環境省の低炭素型の行動変容を促す情報発信「ナッジ」を基盤においた、アプリの横展開を、他の離島へ運動・連携へと強化する予定。</p> <p>③沖縄県水産業における「水産クラウド型入札システム・漁師民泊（渚泊）のサイト構築・運営」を県内漁協への横展開を図る。 具体的には「入札制度※BtoB⇒BtoC をシステムに折り込んだ開発」として、システム化を図り、漁業収益の向上を目指す。 弊社メンバーの沖縄ツアーリストが所有する、沖縄旅行業の「知見」と「海人」とをコラボさせた、「海人体験型旅行サイト」の構築を推進。 水産庁の「渚泊」事業との連携強化を促進し、県ならびに関係市町村の協力を仰ぎつつ、漁業者（海人）が沖縄県観光事業の「底支え」に寄与することを目標とする。 水産クラウド型入札システムの魚価向上による収益と、観光漁業の収益の「ダブルカウント」で、収益の確保ならびに次世代就業者確保を狙う仕組み作りをベースに「持続可能な着地型開発目標」の一つとなす。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
58	株式会社リリーフ・アシスト 琉球オフィス 代表取締役 増田 和彦	<ul style="list-style-type: none"> ・農業事業において、無化学肥料、無農薬で有機農法に挑戦し持続可能な農業に取り組みます。 また、土づくり（地力の高い土をつくる）において、土壌改良剤（微生物資材）の生産及び、それらを使ったたい肥化を推進します。 ・赤土等流出防止に関するグリーンベルト植栽活動への支援を行います。 （陸上だけの問題ではなく、海に土砂が堆積することによるサンゴ礁の死滅など生態系破壊の問題の解決に取り組みます） ・店舗メンテナンス業において、排水系統に微生物資材の活用の啓もう活動、販売活動を通じ、環境容量を超えた経済活動等によって失われた沖縄らしい自然環境の再生に取り組みます。 ・上記を地域行政、観光協会、商工会、漁業協同組合と連携して、SDGs 行政に寄与します。 ・2021 年度に上記微生物資材の生産工場を ‘6 次産業化・地産地消費に基づく総合化事業計画にて建設を予定し、地域に根ざした産業の総合的・一体的な振興を図ることで、地域経済の活性化、雇用の場の創出、交流人口の増大を目指します。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
59	<p>特定非営利活動法人 レキオウイングス</p> <p>理事長 安和 朝忠</p>	<p>当法人は、国際協力、国際交流、人材育成、地域活性化等の事業を通して、2030年までのSDGsや沖縄21世紀ビジョンへの貢献、並びにJICA沖縄との連携強化や企業、県内市町村・各種団体と協業し、共に歩み発展するNPOを目指します。</p> <p>主な取り組み</p> <p>国際協力事業： JICA事業 「基礎教育における格差対策のための教育行政強化」 「コロンビア 平和教育における現職教員研修制度強化」 「フィリピン アグリビジネス/アグリツーリズム」 「ヨルダン 初中等教育行政コース」 「南城市・ビクトリアス市の自立的発展のための地域活性化強化プロジェクト」</p> <p>日本 NGO 連携無償資金協力 「リサイクル物資輸送事業・フィリピンビクトリアス市へ消防車・軽自動車・救助艇の寄贈」</p> <p>国際交流事業： 「次世代 OKINAWA リーダーズミーティング」 / 「第5回世界ウチナーンチュ学生サミット 意見交流会」 「FC琉球×コロンビア×JICA 沖縄～スポーツを通して学ぶ平和～」</p> <p>人材育成事業： 「アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業 (AY♡NIT)」 「SDGs 達成に向けた次世代おきなわ国際人材育成プロジェクト」</p> <p>地域活性化事業： 「なんじょう市民活動支援センター (なんサポ)」</p> <p>JICA 日系社会研修 「沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性化」 「沖縄ブランド (うちなー県産品) から学ぶ地域ブランド創出を通じた“特産品開発”“6次産業化”による日系農業コミュニティ活性化及びネットワーク強化」</p> <p>JICA 沖縄センター共催 「おきなわ SDGs パートナーズ形成プログラム」</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
60	<p>医療法人麻の会 首里城下町クリニック</p> <p>理事長・ 第一クリニック院長 田名 毅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の診療に対する真摯な姿勢と共に地域の中でブランド力を示し信頼を得るよう心掛けています。2001年の開院以来、地域むけ医療講演会を毎月開催し地域の方々へ正確で有用な医療情報の発信に努めています。コロナ禍における現在はYouTube配信を行っています。 ・医師の複数体制と、主に琉大病院からの応援で地域において最新の医療を安定して提供し、患者さんが安心して安全に治療が継続できる体制づくりを心がけています。 ・クリニックの名称を公募により改名（田名内科クリニック→首里城下町クリニック）し、施設管理者が交代することがあっても地域の中で医療を存続する姿勢を示し、地域の中で地域のために持続していく診療所運営を常に考えています。 ・病床を持たず夜間当直の勤務がない分、働く職員はワークライフバランスを保ちながら専門性を磨く機会が得やすく、メディカルスタッフすべてが自己研鑽と教育の機会をもち学会や研究会に参加しやすい環境を提供しています。 ・開院以来、医学生および研修医を地域医療研修として受け入れ、地域医療の醍醐味と医療連携の重要性を伝えています。将来働く職場のイメージやキャリア形成の機会として昨今は看護学生や中学生の職場体験を受け入れています。 ・2019年9月より、週2日、夜のクリニックを開放して地域の未来ある中高生のための学びの場を提供しています。中高生のロールモデルとなる大学生を学習支援ボランティアとして積極的に受け入れ、また個人や企業団体からの寄付等を利用して他団体（子どもの居場所塾）にも場所を提供し、同様に利用者やその親へ食事を提供しています。 ・これまでのクリニックの診療理念に加え、2020年に基本理念と運営理念を、SDGsを念頭に入れて作成しました。年頭の挨拶と併せ理事長より全職員へ説明し理解してもらった上で2020年1月より全員がSDGsのバッチをつけ仕事にあたっています。 	

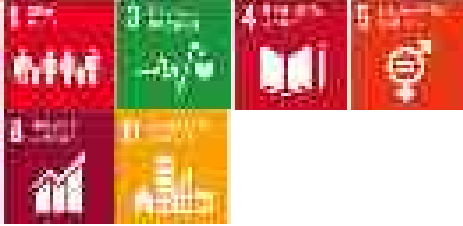
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
61	一般社団法人 あたいぐわー 代表理事 大城 篤	<p>あたいぐわーでの活動を通して、SDGs の達成に向けた取り組みをします。</p> <p>2030 年までに、飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食糧を十分得られるようにします。</p> <p>沖縄 21 世紀ビジョン基本計画の（1）健康・長寿おきなわの推進 ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進を目指し、具体的に以下に取り組む。 自社の畑で栽培した物や、地元で取れた農作物を自社の工場（セントラルキッチン）で食事の作る喜び、食べる楽しみを地域住民で分かち合い、管理栄養士の下で生活習慣病の予防食も調理提供していきます。</p> <p>■貧困をなくそう あたいぐわーでの子供支援、子ども食堂の活動を通して、食べる楽しみを地域住民で分かち合い、子どもの居場所作りを目指します。 自家栽培などを通して、子どもたちと土に触れあい食の大切さを勉強します。</p> <p>■地球温暖化防止や自然環境の保護 海の清掃など、環境美化活動を行い、SDGs を目指します。</p>	

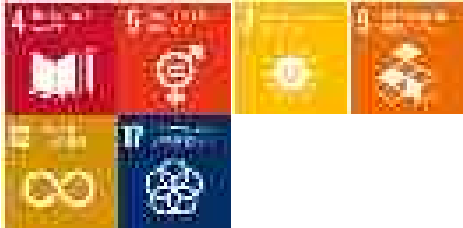
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
62	イオン琉球株式会社 代表取締役社長 佐方 圭二	<p>イオン琉球は「お客さま」「お取引先さま」「従業員」で取り組む「買物がつくる持続可能な社会」を目指して様々な活動を継続して行っております。</p> <p>1、商品でお客さまとともに SDGs</p> <p>①海の資源を守る認証商品の販売 水資源の過剰漁獲や枯渇を引き起こさないよう、海の生き物や環境、生態系などに配慮して漁獲した MSC 認証商品や ASC 認証商品を取り揃えております。</p> <p>②商品で国際貢献（フェアトレード） 商品を適正な価格で継続して買い取ることで生産者が自立できるように支援する貿易の仕組み、フェアトレードを取り入れた商品を販売し、お客さまに購入頂くことで継続的な支援を行っております。</p> <p>③地球にも人間にも優しい商品の品揃え（オーガニック） 農薬や化学肥料の汚染から水・土壌・大気などの自然を守り、自然の循環機能を高めることで地域の生態系を守るオーガニック商品を取り揃えております。</p> <p>④地産地消・全消で環境への負荷を小さく 沖縄独自の農水畜産物など、地域の魅力を掘り起こし、生産者と共に育みながら地産地消・全消へ取り組んでおります。地域のものを地域で消費することにより、輸送による環境負荷を最小限にし、より新鮮な商品を食卓へお届けします。</p> <p>2、地域社会貢献</p> <p>①ご当地電子マネーWAON で地域に貢献、活性化 「首里城 WAON」を始めとするご当地 WAON で地域の自然・歴史・伝統文化や活動のための支援を行っております。</p> <p>②こども支援や食品廃棄ロスへの対策 県内のこども食堂へ継続的な食糧の提供や、使っていないランドセルをアフガニスタンのこどもへ寄付するなど、こども支援を行っております。 またフードドライブの実施などで食品廃棄ロスを減らし、支援を必要としているご家庭、団体へ贈呈しております。</p> <p>3、ダイバーシティを推進し成長する人材が活躍し続けられる企業へ</p> <p>①女性管理職比率の向上を目指した教育支援・制度の制定</p> <p>②LGBT セミナーや障がい者サポーター認定取得など社内教育の開催</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
63	イカリ消毒沖縄（株） 代表取締役 仲本 明	<ul style="list-style-type: none"> ●質の高い教育 社内において資格取得を推進しており、試験料会社負担や資格手当を支給。全社員が専門知識を持ち社会貢献のためお役立を目指す。また、定期的に食品企業様へ向け食品の衛生管理や HACCP などの勉強会を開催しています。 ●女性の働きやすい職場環境 業務の分担化により女性が活躍できる仕事の創出、産休後に復帰できる職場環境づくりを目指す。 ●貧困をなくす 県内では子どもの貧困が問題となっているが、子どもの貧困を解決するには、子どもを育てる親の経済的・精神的な安定が重要だと考えています。そのため、社員の有給消化率向上・所得向上を目指す。 ●すべての人に健康と福祉を 食品の安全・安心のため仕事を通じて食品製造業での食中毒防止・異物混入防止のサポートを実施し、安心して食事がとれる健康的な社会を目指す。社内においても健康診断を定期的実施し健康経営を実施する。 ●住み続けられる街づくり 環境に配慮した方法で、衛生害虫の問題を解決し住み続けられる街づくりを推進する。 	

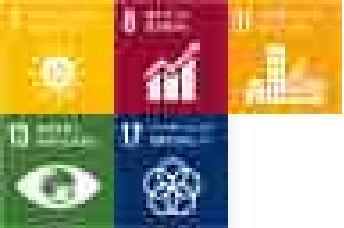
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
64	<p>石垣島トライアスロン大会（事務局）</p> <p>事務局長 池淵功寛</p>	<p>石垣島トライアスロンでは、大会に関わるすべての活動において、SDGsに組み込み、それを発信することで、石垣島・八重山諸島の街づくりに寄与し、大会の質の向上を図ります。</p> <p>▶学ぶ機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビギナー選手も、安心して大会にチャレンジできる環境づくりを行っています。 ・地域のジュニアアスリートが挑戦するための継続的な支援体制を目指します。 <p>▶女性にもやさしい大会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性目線で参加環境の向上を図っています。女性ランナーはもとより“誰もが参加しやすい大会”を目指しています。 <p>▶電動バイクの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営に電動バイクを活用し、CO2 排出量の削減に取り組んでいます。 ・大会車両 50%の電動・ハイブリッド化を目指します。 <p>▶ICT を活用した大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPS 情報を活用し、選手の位置情報をリアルタイムで配信。島の魅力と競技の様子など空撮映像を含めた動画で配信している。 <p>▶ゴミの削減、リユース、リサイクル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙印刷から WEB 資料と動画での配信を行い、70%の紙廃棄の削減を実証します。 ・海洋漂流物を削減するため、ペットボトル廃棄のない大会を目指します。 <p>▶地域と選手がつながるトライアスロン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会サポーターとして地域の事業者からご支援頂き、地域のみんなで大会づくりを行なっています。 ・参加選手と共に地域の環境整備や地域情報の発信を一緒に行う取り組みを開始。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
65	<p>石垣島ビーチホテルサンシャイン</p> <p>代表取締役社長 赤城 賀子</p>	<p>石垣島ビーチホテルサンシャインでは、持続的な開発目標 (SDGs) を推進するために、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●持続可能な光害(ひかりがい)への取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・夜の自然環境保護として、主に光害への対策や星空保護の啓蒙活動を、一般社団法人星空 H20 八重山地域振興会と連携して取り組んでいます。 ・ホテル施設内外の照明デザインを工夫することで、不必要な屋外照明を削減し、生態系保全や省エネルギーに効果的な照明を採用してきました。敷地内で開催している「しゃにしゃに星空ツアー」では、石垣島の豊かな星空のご案内と共に光害対策の大切さもお伝えしています。 ●持続可能な観光産業としての取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ地元の食材を使用し、地産地消に努めています。 ・ペーパーレス化やリサイクル、リユース、食品ロス削減等ごみの削減に取り組んでいます。 ・プラスチックごみを減らす為、紙製ストローや紙製のテイクアウト用弁当箱を使用しています。 ・節水や節電、緑化、ビーチクリーン、ホテル周辺の清掃活動等を通して、環境への配慮や地域美化に努めています。 ●持続可能な健康経営とダイバーシティへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・従業員一人一人が働きがいをもって生き生きと働くことのできる職場環境作りに努め、地域社会と共に持続発展する未来づくりに貢献します。 ・従業員の健康的な生活を確保するため、積極的なスポーツイベント参加や健康診断受診、年次有給休暇取得に取り組んでいます。 ・定時退社を促進したワークライフバランスの充実を図るとともに、業務の円滑化・効率化等による労働生産性の向上も図っていきます。 ・性別や人種、年齢、学歴を問わず多様性を受け入れ、広く人材雇用の機会を設けています。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
66	<p>株式会社 エー・アール・ジー</p> <p>代表取締役 池間 守</p>	<p>弊社は、建築設計監理業務を中心として、コンストラクション・マネジメント業務、補償コンサルタント業務を行っており、総合設計コンサルタント会社として質の高い成果を提供し、顧客満足と信頼に応えられるよう社員一同心掛けています。</p> <p>経営理念である「エー・アール・ジーは価値のある仕事を通して、顧客、社員の満足と幸せを実現し、創造力を図り社会に貢献します。」の基、建物を造ることにより街並みを形成してゆき、地域社会の人々に感動を与え、またクリエイティブな人材の育成とたゆまぬ技術の研鑽を行い、建築設計を通してクライアントに喜びと幸せを提供することで社会的使命を果たします。</p> <p>2030年SDGsの理念に紐づき目標へ向けて各分野のプロフェッショナルとパートナーシップの構築を図り未来へ向けた活動に取り組みます。</p> <p>●地域温暖化、自然環境保全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築分野において環境問題となっている省エネルギー等の研修会への参加を行っており、また、ZEBを建築設計に用いながら地球温暖化対策に積極的に努めています。 ・沖縄県産の地場材を積極的に採用しパートナー企業と連携を図りCO2削減へ向けた普及に取り組んでいます。 <p>●働きやすい職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革による長時間労働の抑制や週休二日制度を推進することによって誰もが働きやすい環境づくりに努めます。また、Webを構築し自宅からでも仕事ができる環境へ変化させ、生産性を向上させながらリモートワークを推進する取り組みを行っています。 <p>●建築物の耐震対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共建築物を中心にして耐震診断、改修設計、劣化度調査補修を継続的に実施すると共に、今後は民間建築物にも積極的に普及啓発を行っています。 <p>●地域貢献・啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃活動・奉仕活動を意欲的に実践し、地域の景観に配慮し美化に努めています。 ・子ども達の学びや成長に繋がる職場体験（インターシップ）を実施し、未来へ向けた児童生徒の健全育成に努めています。 ・平日の通勤、通学の時間帯に安心、安全な社会を目指し、子ども達を見守る立哨活動に努めています。 ・毎年県内外から有識者を講師として招き入れ、一般の方々向けに無料セミナーを開催しています。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
67	<p>株式会社 オー・イー・エス</p> <p>代表者 竹森 勝俊</p>	<p>OKINAWA SDGs プロジェクトのパートナーシップ企業として登録している。</p> <p>沖縄県から委託を受け子育て総合支援モデル事業（進学チャレンジ支援事業）を実施。大学への進学意欲があり支援対象となる生徒の当校への通塾支援を行っている。</p> <p>那覇市スタディクーポンモデル事業に参画事業者として登録。那覇市在住の生活保護受給世帯の小学 4～6 年生の児童が当校へ通塾希望の場合、クーポンを発行し通塾支援を行っている。</p> <p>社内で女性活躍推進委員会を発足。今後は女性職員のキャリアアップや育児中の職員の時短勤務など就業状況の改善に向けて取り組んでいく。</p> <p>各事業所の照明器具を LED へ切り替え予定。電力削減と環境に配慮した事業所運営を行っている。</p> <p>社内でハラスメント研修を実施。オンライン会議なども導入し各職員が効率良く、働きやすい就業環境の整備を行っている。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
68	<p>学校法人大庭学園 沖縄福祉保育専門学校 校長 諸見里 安知</p>	<p>沖縄福祉保育専門学校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、児童憲章・社会福祉法の理念に基づき、広く社会福祉事業・幼児教育及び健康福祉教育に関する専門的知識・技術を教授し、併せて豊かな人間形成に努め、以て有効な社会人並びに専門的職業人の養成を行うことを目的としています。</p> <p>本校は沖縄県とともに、21 世紀ビジョン “時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ” を創造するという理念のもと、次代を担う人々に思いをはせながら、沖縄から地球規模の課題解決に向けて、「持続可能な開発目標」の達成のため、教育や社会活動を通じて貢献してまいります。</p> <p>【これまでの SDGs への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT 技術を活用し、石垣島に幼稚園免許・保育士資格が取得できる「こども学科」を開設しました ・ 留学生を受け入れ介護人材育成を強化しました ・ 北中城村・学校法人大庭学園が地域福祉を推進するための連携協定を締結しました ・ 久米地域にお住まいの子どもたちを対象に学習支援を行いました ・ 平和から令和へつなぐ OKIFUKU HEIWA クリーン活動を行いました ・ こども園などに手作りマスクを贈りました <p>これまでは本校単独での取り組みが中心となっていました。今後はこれらの活動を継続しつつ、おきなわ SDGs パートナー企業などとの連携を図り、学生支援などについても検討していきたいと考えております。</p> <p>また、ソーシャルワーク専門学校や認定こども園などを含め、大庭学園グループ全体で、取り組みを推進していく予定です。</p>	



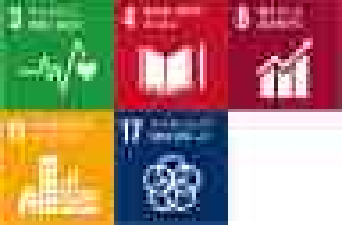
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
69	<p>株式会社 okicom</p> <p>代表取締役 小渡 玠</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の福祉事業を支援します (3) 福祉を推進する官公庁への地域包括支援システムなどの IT 支援の業務活動を通じ、すべての人々の健康的な生活への貢献を目指します。 ●質の高い教育改革に IT の力を生かします (4) 教育への IT の役割も年々重要に。インターンシップ受入、パソコン教室施工、高度専門システムの提供などを通じ、質の高い教育の提供にこれからも尽力します。 ●LED の可能性をもっとみんなに (7) LED 照明エコシステムの販売や、LED イルミネーションの企画・運営行っています。省エネに限らない LED の可能性を信じ、持続可能なエネルギー活用に取り組みます。 ●自己研鑽と働き方改革の両立 (8) 創業初期から週休二日や産休・育休等の導入など人間らしく働きがいのある職場環境づくりに努めてきました。近年では社員一人ひとりとする目標評価精度を採用。継続的な成長を共に目指します。 ●地域の伝統工芸にイノベーションを (9) 琉球びんがた普及伝承コンソーシアムを、びんがた工房と共に設立。人口減や着物市場の縮小という逆境の中で、意匠やデザインを知的財産として保護、再利用できる環境を整え、次の百年を創ります。 ●地域の安全・安心に技術を生かす (11) ドローンスクワッド設立に参画し、市町村と災害協定を締結。災害・事故現場におけるドローンの活用支援の研究や、パイロットの育成も行っています。 ●環境負荷の高いアパレル業界に DX を (12) バガスのエシカルな生地と IoT を駆使し循環経済型のアパレルサービスの開発に取り組んでいます。 ●水産業の発展にドローン技術を活用 (14) 知念漁協共同で、空撮画像をデータ化し漁協が持つ情報と合成、どの漁場が収穫最盛期かを分かる様にしました。本技術は他の水産業の発展にも役立ちます。 ●地域資源の見直しで未来作り (15) 亜熱帯の希少生物の宝庫「やんばるの森」を守り、地域資源を生かした地元住民参加型の観光提案や SDGs に取り組む恩納村 IoT 推進協議会にも参画しています。 ●ニューコンビネーションで地域に貢献 (17) 県内外、国内外企業とのパートナーシップ・コラボレーション事業を通じ、持続可能な技術イノベーションの基盤を築いています。これからも地域の発展に寄与します。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
70	<p>特定非営利活動法人沖縄 NGO センター</p> <p>代表者 渡邊直美</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の市民活動支援に関わる機関や団体との連携 2か月に1度沖縄市民活動支援会議と題して各団体と意見交換・情報交換を行い、地域課題の解決を目指す。 ・ 人材育成 インターンやボランティアの受け入れを行い、自身の適正や就業意識の向上と共に個性や特性を把握して地域貢献へ活かせる気づきの機会を提供。 ・ 出前授業／開発教育・国際理解教育事業 地球規模の課題について身近な問題から世界とつながることができる学びを提供。 ・ 世界のウチナーンチュ関連事業 世界にも稀な世界のウチナーネットワークの構築。そのネットワークを通じ、目指すべき社会に向かって一歩踏み出す機会を提供。 ・ にほんごサークルの運営 地域に住む外国人が自発的に活動できる場所の提供 ・ 地球市民ひろばの実施 地球市民・多文化共生を市民と一緒に考え共有する場づくり 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
71	株式会社 沖縄海邦銀行 代表取締役頭取 上地 英由	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「みどりの運動」を継続し、緑化推進、環境保全の啓発に貢献します。 ➤ 「チーム美らサンゴ」への参加や海浜清掃活動を通して、海洋環境の改善に努めます。 2. 地域経済の発展、持続的な成長 <ul style="list-style-type: none"> ➤ お客様の企業ステージごとの経営支援およびソリューション活動に注力し、地域経済の発展と持続的な成長を支援します。 3. 地域社会の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域に密着した社会貢献活動を通し、地域の課題解決や産業振興、コミュニケーションの活性化に寄与します。 ➤ 沖縄の文化・伝統やスポーツの振興を支援し、豊かな社会環境の構築に貢献します。 	  


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
72	特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ 会長 下地邦輝	<ul style="list-style-type: none"> ●環境学習プログラムの提供 「百聞は一見にしかず」で、地域の水辺環境の現状を体験学習することで、将来の環境を守るために自らの日常を変えるきっかけ作りをしている。また、「国場川ごみゼロ作戦」では、地域の散乱ゴミの現状の情報を活かした学校教材づくりを行っている。 ●水循環型社会づくり 島嶼の水環境は水源地の環境の影響を受けやすく、人の生活とも密接に結びついている。琉球大学と連携し、環境学習活動を通じて地域における循環型社会づくりに取り組んでいる。 ●地域資源を活かした観光商品づくり 地域資源を活かした観光（エコツアー）商品の開発を行い、販売している。また、JICA 研修では「エコツアー企画・運営」コースを運営し、草の根技術協力事業ではインドネシアにおいて地域資源を活かしたコミュニティ観光商品づくりを行った。 ●国場川ごみゼロ作戦 川ごみ削減に向けた学校教材の開発及びゴミ拾いの実践活動を含む環境学習プログラムの提供を行っている。 ●水辺の植生再生活動 在来種を用いた水辺植生の再生活動の中で、ギンネムや、センダングサ、アメリカハマグルマなどの外来植物種の駆除を行っている。 ●JICA 事業を通じた途上国への技術支援 課題別研修や草の根技術協力事業の JICA 事業を通して、途上国への技術支援を行っている。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
73	<p>(一財) 沖縄観光 コンベンションビュー ロー 会長 下地 芳郎</p>	<p>【経済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の航空会社、クルーズ船社、旅行会社、交通機関、ウエディング事業者、メディア等と連携し、観光客誘致を行い県経済活性化へ貢献(8, 12, 14, 15, 17) ・観光客への物産・伝統・文化・芸能・文化遺産・自然遺産のPR(8, 11, 12) ・観光コンテンツの開発・発掘・周知PRによる商品造成・販売支援(1, 3, 14, 15, 17) エコ、自然体験ツアー、チームビルディング、空手ツーリズム ・ツーリズム EXPO ジャパン 現地視察ツアーにおいて、SDGs の観点を盛り込んだ15コースを設定(3, 4, 8, 9, 11, 12, 14, 15, 17) ・「#発見 SDGs キャンペーン」により、沖縄と関連するSDGsの写真等を募集するコンテスト開催(8, 9, 11, 12, 14, 15, 17) ・「おきなわ観光天気予報」にて、観光客の予測を提示し、県内事業者の受入促進、県民への経済効果可視化(8, 17) ・沖縄観光親善使節「ミス沖縄」による国内外への本県のイメージ向上と誘客PR(5, 8) <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業界・大学等と連携した受入体制整備(4, 8, 10, 11, 12, 14, 17) 観光業界を対象とした人材育成セミナー開催(SDGs 普及啓発セミナー含む)・学校等を対象にした観光教育 ・インバウンド対応強化(3, 4, 8, 10, 11, 12, 17) 食の多様性対応、医療体制整備、「ウェルカムんちゅ」 ・行政・観光業界と連携した観光危機管理体制の構築(8, 11, 13, 16, 17) ・「防疫型観光」を推進するため、県医師会等医療関係機関と連携(3, 8, 17) ・持続可能なMICE開催の提案や産学官で構成される「沖縄MICEネットワーク」によるMICE誘致・受入体制強化(2, 3, 4, 5, 6, 8, 9, 11, 12, 14, 15, 16, 17) ・修学旅行の実施による学習機会の提供、支援(3, 4, 8, 10, 11, 12, 14, 15, 16) 県外学校への事前・事後学習支援、海外学校と県内学校の交流マッチング ・旧海軍司令部壕の運営を通じて、戦争の愚かさや「平和で豊かなおきなわ」の発信(4, 8, 11, 12, 16, 15) <p>【環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちゅらチャリ」運営によるCO2排出削減・交通渋滞緩和(7, 8, 11, 13, 17) ・県内企業・団体と連携したクリーンアップ活動(6, 11, 12, 14, 17) ・世界自然遺産登録に向けたプロモーション(8, 11, 14, 15) ・環境に配慮したノベルティ製作(マイ箸、布製ファンシーバック等)(13, 14, 15) ・フードロス意識したレセプション開催(12) ・ブセナ海中公園の運営を通じて、海の魅力を伝え、自然観光の保全(14) 	

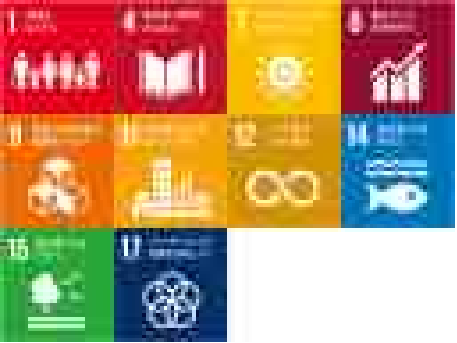
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
74	特定非営利活動法人お きなわグリーンネット ワーク 理事長 西原 隆	<p>○陸域からの赤土等流出防止対策として、農地の周りにグリーンベルトを植栽したり、緑肥等で覆うカバークロープ対策によるサンゴの保全及び土壌の保全を行う取組。</p> <p>○地域の子どもたちと一緒にグリーンベルト植栽活動を行うことで、次世代を担う人材育成支援及び環境学習の取組。</p> <p>○農地の土壌保全と生産性の向上による、持続的な農業の実施に向けた取組及び支援。</p>	



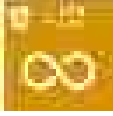

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
75	<p>沖縄県医療廃棄物事業 協同組合</p> <p>代表理事 南 秀樹</p>	<p>1、日本赤十字への寄付活動、自然災害・高齢者・障がい者・飢餓へ支える貢献取組。 ① ②</p> <p>2、地球温暖化防止対策として、温室効果ガス排出削減への取組みする中、最近の事業として環境省の「CO2 削減ポテンシャル診断」、経済産業省の「省エネルギー診断」を受け、抑制及び改善すべき部分が具体的に見えてきた、更に10年以上継続する認証登録「エコアクション2.1」環境負荷への削減取組みと前述の診断事業結果を踏まえた効果的な取組推進を図っています。③⑦⑪⑬⑮</p> <p>3、社員教育と業務に係る技術教育を自社や外部講師にて開催、そして弊組合では沖縄県からの産業廃棄物業の全4許可への優良認定を取得した事で、社員の安全運転、安全作業や適正事務への意識の高揚が図られ一つの教育の一環としてモチベーション向上を担っている。 お客様への廃棄物説明会の開催や施設への案内により適正処理への理解の為、個人、企業、県内外からの視察受入れ中。④⑧</p> <p>4、産業廃棄物処理業として騒音、振動、悪臭の抑制取組。⑥⑪⑫⑬⑭⑮</p> <p>5、花や緑による「緑の美ら島」への実現のため、緑化の取組を積極的に推進しています（弊組合は花と緑に囲まれた環境にあります）。⑮</p> <p>6、雇用環境の整備により、社員が働き易く定年後も安心して再雇用、再々雇用へと働ける社会の組織カンパニーの実現と社員の幸せのため「働き方改革」への雇用形成を目指しています。⑤⑧⑩</p> <p>7、環境にやさしい循環型社会の構築、廃棄物発生抑制、再使用、再利用・再資源として3Rの推進。⑫⑬</p> <p>8、有給休暇その他休み等でワークライフバランス促進及び研修制度、自己啓発の促進、福利厚生充実など働き方改革の構築の為の推進中。③⑧⑩</p> <p>9、グループ会社の(株)環境ソリューション、(株)倉敷、(有)華南産業と共に協調体制を図り、互いを補いながら、力強いパートナーとして躍進しています。⑰</p> <p>10、ISO 14001 環境マネジメント令和3年内には認定取得予定。③⑥⑦⑪⑫⑬⑭⑮</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
76	<p>公益社団法人 沖縄県工業連合会</p> <p>古波津 昇</p>	<p>公益社団法人沖縄県工業連合会では、持続的な開発目標 (SDGs) を推進するために、以下の取り組みを実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県産品奨励事業の実施（ゴールNo. 1・7・8・9・11・12・17） 毎年7月に地域経済の活性化と雇用の拡大、人材育成、リサイクルの推進等を促進する事業を行っています。 2. 学校と産業界の交流事業の実施（ゴールNo. 4・8・9） 将来の沖縄を担う子供達に、職業観の醸成や働くことの大切さ、地場産業の理解を深めることを目的に、企業から学校に講師を派遣する事業を行っています。 3. 国家試験の実施（ゴールNo. 7・8・9・11・12・14・15） 環境保護やエネルギーの合理化に係る、公害防止管理者国家試験、エネルギー管理士国家試験を行っています。 4. 広報事業の実施（ゴールNo. 4・8・9・11・12・17） 地場産業の紹介、国県等の実施する事業の告知、産学官連携の取組の紹介、雇用促進に関する制度等を紹介する月刊誌「工連ニュース」を発刊しています。 http://www.okikouren.or.jp/ 5. 沖縄の産業まつりの実施（ゴールNo. 1・7・8・9・11・12・17） 県内最大の産業イベントとして定着している「沖縄の産業まつり」を実施しています。 6. 工業関係学生の学資支援（ゴールNo. 4・8・9） 高等学校の工業関係学科及び沖縄工業高等専門学校に在学している学生に対して、心身健全、志操堅固、学業優秀で、経済的に学資の支出が困難な学生を対象に学資の一部を支給しています。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
77	<p>沖縄県産業廃棄物処理協同組合</p> <p>代表理事 宮城 晃</p>	<p>当組合では産業廃棄物の収集運搬、処分、組合員企業の事業活動を通して無理なく計画的に実行できる事を前提に SDGs への取組を沖縄 21 世紀ビジョンの取組内容とリンクさせながら活動してまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術的・職業的スキル向上を目的に組合の費用負担にて社外研修、関連資格取得を促進し個々の能力を高め生産性向上に繋げる。 ▶ 職務に必要な資格は全員取得、その他、危険物取扱者、第 2 種電気工事士、その他資格を受験する職員に対し組合で費用負担を行い生涯学習の風土をつくる。 ・ 働き甲斐がある職場を目指し全ての職員の発言や提案に耳をかたむけ積極的にチャレンジし易い風土をつくる。 ▶ 働き甲斐がある職場であり、年齢性別を問わず同一労働同一賃金で公平公正な賃金体系及び有給休暇の 8 割以上の消化が出来る風土をつくる。 ・ 事業を通じてお客様（排出事業者）へリデュース・リユース・リサイクルを案内し出来るかぎり環境に優しい処理方法を提案する。 ▶ 廃棄物の排出事業者に対し出来る限り環境負荷がかからない処理方法をプロとして提案し再利用を促進する。 ・ 県主催の不法投棄パトロールや清掃作業、西原町主催、地元通り会主催の清掃活動や組合の近隣もゴミ拾いや草刈りを行う。参加企業の担当者様とコミュニケーションを行い不法投棄や廃棄物の適正処理方法についても情報交換を行っています。 ▶ 排出事業者が廃棄物の正しい分別方法を習得出来るよう関わる事業者へ廃棄物の適正処理方法や 3R を促進し企業間で環境負荷を低減し持続可能な社会づくりに貢献する。 	   

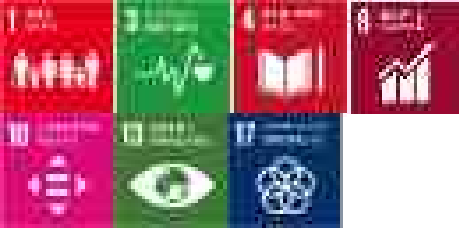
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
78	<p>一般社団法人沖縄県女性の翼</p> <p>会長 奥村 啓子</p>	<p>沖縄県女性海外セミナーにより、女性リーダー育成のため活動が続ける中 36期の海外研修を節目に、一般社団法人女性の翼としてスタートしました。今後も時代の変化に対応していく団体として「持続可能な開発目標 SDGs」に積極的に取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あらゆる分野で女性リーダーを輩出し、政策を検討し提言する <ol style="list-style-type: none"> (1) 当団体役員を対象に講話「沖縄県 SDGs の取り組みについて」実施 講師 沖縄県企画部企画調整課副参事 (2) 女性リーダーを講師に「2020 年国内セミナー女性の翼第 37 期」開催 (沖縄県女性海外セミナーはコロナウイルスの世界的な蔓延により中止) ○「ダイバーシティ時代に求められるリーダーシップ」 ○「世界の女性たちに出会って、つながって！」 (3) 活躍する女性リーダーの「SDGs シンポジウム」開催 (全会員を対象に第 27 回宿泊研修会において実施) 講演 「沖縄県下における SDGs の取り組み」琉球新報社報道本部長 シンポジスト 恩納村役場企画課企画係長 NPO 法人にじのはしファンド代表 金秀アルミ工業（株）取締役執行役員営業部長 ● 女性の自立支援・子どもの貧困対策 DV 被害の子どもや女性が、シェルターを出た後の生活自立支援として、民間企業とタイアップし「女性の翼 OK 基金」を設置。運営の基軸として個人や団体の協力を得る仕組みを作り、支援事業を開始しました。 また、ひとり親の母子寡婦世帯、生活困窮世帯から生まれる子どもの貧困は、連鎖もあり、公的扶助制度や支援要請等に声を上げながら取り組みます。 ● 政治分野における女性の進出について 会員には、沖縄県議会議員、市町村議会議員、各種審議委員として政策決定の場に関わり活躍している女性もいます。男女共同参画社会を推進するためにも会員議員による情報交換会が翼会員のチャレンジに繋がるような、取り組みを継続します。 <ul style="list-style-type: none"> ・リモート会議「女性の翼会員議員による議会活動情報交換会」実施 ・県議会議員 2 名・市町村議員 4 名による議会活動・議員へのきっかけ・ジェンダー平等・女性の翼に期待する事、について情報交換を行った。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
79	<p>沖縄県 life 倶楽部協同組合</p> <p>代表理事 青山 悠紀</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●少子化対策、婚活応援事業 人口減少、少子化、晩婚化の現状をあらゆる角度から応援しています。 ●life スタイル応援事業 全ての人の個々の life スタイルを教育、福祉、働きがい等テーマとし、共に様々な企画を提供し応援しています。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
80	<p>沖縄県労働金庫 理事長 高良恵一</p>	<p>ろうきん業態による考動指針の策定を受け、沖縄ろうきんとして「沖縄ろうきんSDGsにむけた考動ビジョン」を制定し、経済・社会・環境の分野で以下の通り、取り組みを行っております。</p> <p>【経済】</p> <p>1. 妊活サポートローン「Hug-Kumi」の取り扱い 不妊治療に対する社会的理解の拡充促進や仕事と不妊治療の両立支援のため経済的負担の軽減</p> <p>2. 奨学金借換専用教育ローン「kukuru」の取り扱い 奨学金返済による経済的負担を軽減</p> <p>【社会】</p> <p>3. ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金の取り組み 「子どもの貧困」や根本的な要因の「親の貧困」の解決・改善に向けた自立支援を目的に創設した基金</p> <p>4. ろうきん・わしたシマづくり運動 沖縄県内で経済、福祉、環境、文化等に関わる活動に取り組む非営利団体等へ寄付することでその活動を支援しています。</p> <p>5. 職員の認知症サポーター養成講座への参加 地域包括支援センター等と連携しながら認知症の支援体制の構築</p> <p>6. 各地区推進委員会との協働での地域文化・スポーツへの貢献 野球・バレーボール等のスポーツ大会の開催 小中学校への絵本・児童文学書の寄贈</p> <p>【環境】</p> <p>7. 会議資料のペーパーレス化 紙の使用削減を推進し、ゴミの排出量を削減します。</p> <p>8. 働きやすい職場の環境づくり 育児中の職員の時短勤務、子の看護休暇、生理休暇、治療と仕事の両立支援</p>	

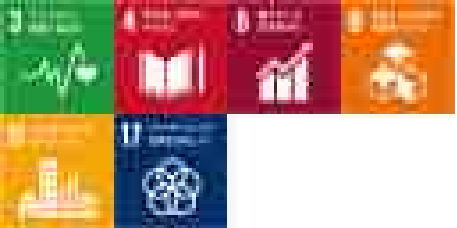
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
81	<p>沖縄体験ニライカナイ 有限会社ニライカナイ</p> <p>代表取締役社長 加蘭 明宏</p>	<p>●SDGsの実践を1998年から行い続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1998年の発足以来、地元住民に働き甲斐を感じてもらうことや環境に優しい取り組みを行うことを主目的としています。EM洗剤の使用やリユース、地産地消等を心掛け、ゼロエミッションと無農薬、赤土流出防止緑地帯の設置等を目指すなど環境に配慮し、環境保全の大事さや生きる喜びを共感出来るなど学習効果も高い、持続可能な感動体験学習を企画し主に修学旅行生に提供しています。 ・農業体験は自社管理サトウキビ畑等で近隣の農家とともに受け入れを行い、海人体験は恩納村やうるま市石川の漁業協同組合との協働、生活・暮らし体験は地域住民のお母さん方と、シーカヤックやシュノーケリング等のマリン体験は地域のマリン業者と連携する等、地域の方々とのパートナーシップを最重視しています。 <p>●環境保全活動を持続的に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム中にビーチクリーンや漁港清掃活動等の取り組みを入れて、修学旅行生と一緒に実行しています。 ・2013年に「恩納村久良波海岸保全利用協議会」を8社で設立し、恩納村漁業協同組合の指導の下、密漁防止や適正利用となるべく容量の調整を事務局として行うとともに、日常的に久良波海岸のビーチクリーンを協議会としても行っています。 <p>●SDGs普及と啓発活動を継続的に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年に「SDGs de 地方創生 ともに考える持続可能な恩納村の未来」の講演とカードゲーム体験会を企画・共催し、村内中心のステークホルダー80名で実施しました。 ・2020年には恩納村SDGs推進委員会委員に任ぜられ、村民対象にSDGs普及の為のカードゲームファシリテーターを継続実施しています。 ・2020年から修学旅行用SDGs体験プログラムを新たに企画発表し、修学旅行生にSDGsの理解や行動を促すとともに沖縄への継続的な誘客を心掛けています。 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
82	<p>株式会社 沖縄タイムス社</p> <p>代表取締役社長 武富 和彦</p>	<p>沖縄タイムス社は、戦後の荒廃した時代を「文化の力」で復興させようという創業の理念から文化事業を中心に力を入れてきました。総合美術展「沖展」や琉球古典芸能を守り育てる伝統芸能選考会、沖縄タイムス教育賞など文化および教育関連事業が特徴で、主催、共催事業を含めると約130事業にのぼります。また、近年は、子どもの貧困を解消する「沖縄こども未来プロジェクト」や「タイムスふれあい事業」「タイムス地域貢献賞」といった福祉面、地域活性化の視点で支援する取り組みも続けています。こうした事業はSDGsの考え方と共鳴するものであり、今後もSDGsの考え方を当社の道標として捉え、新たな事業も加えながら推進する考えです。</p> <p>○タイムスSDGsプロジェクト「MIRAIづくり」 クラウドファンディングLink-U（リンクユー）を活用し、県内のSDGsに取り組む企業や団体、個人を対象に、目標達成に向けた「情報発信」から「資金調達」、連携を広げる「パートナーシップ構築」まで、取り組みを進めるステージに合わせた具体的な支援を提供します。</p> <p>○伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 伝統芸能公演、顕彰事業や沖展などの主催事業で文化の保全・継承および創造の役割を果たします。</p> <p>○離島の特色を生かした産業振興と新たな展開 2012年より地域活性化の事業としてふるさと応援元気企画を開催。石垣市、久米島町、伊江村など離島を中心に特産品、伝統工芸品の販売のほか、地域で受け継がれてきた民俗芸能公演を実施。本企画を通し地域振興に貢献し発展の一助となるべく取り組みます。</p> <p>○子育てセーフティーネットの充実 2016年に立ち上げた沖縄こども未来プロジェクトではこどもを支援するNPO・団体へ支援。17年からは新年度に小学校・中学校・高校へ入学する新1年生（非課税世帯）を対象に入学応援給付金を支給（19年度末累計3年間で2406人へ9270万円を給付）子どもの夢をみんなで支える一歩となるべく、企業・団体・個人のサポーターの皆様から頂いた支援金で子どもたちの夢を後押しします。</p>	





おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
83	<p>沖縄の未来像研究会 又吉章元、藤中寛之</p>	<p>2017年4月に発足した本会は、SDGsと同じ「バックキャストिंग」の発想に基づいた「沖縄の未来像」に関する調査研究と提言・教育活動を行ってきた。</p> <p>現在、経済分野を中心に「沖縄の未来像」を検討してきた本会として、SDGsの経済・環境・社会の統合性等に留意しつつ、17の目標ごとに沖縄に引き付けた事例や問題を掲載した「研究ノート」を作成中である。</p> <p>以下、主なSDGsへの具体的な取組みを記したい。</p> <p>2018年5月に沖縄大学土曜教養講座「戦後100年 経済発展する沖縄の未来像」を企画し、提言を含む報告書を取りまとめた。</p> <p>2019年11月、北海道教育大学及び沖縄大学の学生と未来像に関するワールドカフェを行い、沖縄県のSDGs等の取組みを盛り込んだ報告書を作成した。</p> <p>2020年9月、OECDから「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定された北九州市のSDGsについて調査し、琉球新報に「沖縄のSDGs推進、権限と経済基盤強化必要」（藤中寛之、2020年10月11日）との論壇を投稿した。北九州市のSDGs推進の基盤には、公害克服に向けた婦人会の活動にみる「市民力」の高さや、五市合併と政令指定都市移行による北九州市の誕生があることを紹介し、沖縄でSDGsを推進する上で市民が行政組織を大胆に統合し、権限と経済財政基盤を抜本強化する必要があると述べた。</p> <p>2020年12月、障害者の就労支援事業や沖縄における薬学部新設の必要性などを通じて、SDGsにおける福祉や医療のあり方について意見交換を行った。そして、沖縄の県や経済団体、マスコミ、JICA等のSDGsの取組みを調査した。</p> <p>2021年1月、SDGs未来都市として注目されている恩納村の取組みを調査した。恩納村では、「サンゴの村宣言」を施策化するためにSDGsに取組み始めており、経済・環境・社会の三側面の相乗効果があることや、大規模なインフラ整備が未着手になっているなどの現状についてヒアリングした。</p>	





おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
84	特定非営利活動法人 Okinawa Hands-On NPO 理事長 安慶名達也	<p>★沖縄生活文化の本質と多様性の追求で未来との絆づくり！ 子どもから高齢者の貧困問題を背景に、様々な格差を解消する地域支援体制の有機的人材構築に日々邁進しています。活動展開コンセプトに『生き抜く力醸成（じょうせい）！』を置き、予測不可能な不透明性が高い未来社会において、人間（にんじん）や皆（む）るー（てい）ちをモットーに、持続可能な取り組みを強化推進いたします。</p> <p>●ナーハイバイ（無縁）社会からチュイシージー（自助、公助）地域へ！ 様々な分野の生活格差を解消する持続可能な地域拡大家族づくりの為の仕掛けと仕組みづくりを構築し、食育を越えた食農教育を推進し、質の高い生涯学習教育を実践します。</p> <p>●地域共生肝心（ちむぐる）社会のモデルづくり！ 地域の耕作放棄地を活用し、人も野菜も有機的に繋がる持続可能な地域小規模農業を開拓し、地球環境にやさしい食と農の循環推進を図ります。</p> <p>●しまくとぅばを沖縄県の18番目のSDGsのゴールに！ 消滅危機にあるしまくとぅば普及促進の為の様々な事業やプログラムを、しまくとぅばを愛（かな）さする方々や企業や団体と協働し、言葉と伝統文化を醸成できる道開拓人（みちあきんぐわあ）の育成に邁進します。</p> <p>●沖縄旧暦行事（ウユミ・シチビ）を持続させる暮らしの中の御願を推進！ 近年、継承への価値観が薄れつつある、生き抜く知恵の源である暮らしの御願の本質と魅力を発信し、自然との共存のあり方を提案します。</p> <p>●区産地消で環境に負荷をかけにくいフードドライブ実現！ 学校や地域、企業と協働し実現できる食品ロス削減を目指したフードドライブ（食べ物のウトウイムチ）事業を推進し、一人親家庭や独居高齢者への野菜等の無償配布まで実現できる取り組みを図ります。</p> <p>●誰一人取り見逃さない持続可能な見守り活動推進！ 毎年増加傾向にある認知症高齢者行方不明者の見守りと搜索を、地域との有機的なつながりの中で、安全に住み続けられるまちづくりの実現を目指しながら、切れ目のない支援基盤体制拡大を行います。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
85	<p>沖縄ビル・メンテナンス株式会社</p> <p>代表取締役 幸地 均</p>	<p>弊社は『人と企業に安全で快適な環境を創造する』を品質・環境方針に掲げ、SDGs 活動に取り組んでいます。</p> <p>◎質の高い教育をみんなに</p> <ul style="list-style-type: none"> ●従業員のスキルアップ（資格取得の推進） <p>ビルメンテナンス業に必要な専門資格取得を推奨し、社員のスキルアップを図ります。</p> <p>◎働きがいも経済成長も</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全パトロールによる労働災害防止 <p>毎月、労働安全衛生委員にて現場でチェックリストを用いてパトロールを実施、災害の危険個所がないか確認し従業員の労働災害防止へ取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●働き方改革の推進 <p>働き過ぎを防ぐことで働く方々の健康を守り多様な「ワーク・ライフ・バランス」を実現する為に「時間外労働の削減」及び「NO 残業デー」を制定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齢者及び障害者の積極的雇用 <p>高齢者及び障害者を継続的に、安定した雇用の確保を目指します。</p> <p>◎住み続けられるまちづくりを</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境に優しい資機材の使用 <p>環境負荷の低い資機材を使用し、人体・環境への安全性を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境マネジメントシステム「ISO14001」の運用 <p>「ISO14001」を活用し継続的な PDCA サイクルで廃棄物の管理コストの低減、水道・電気などエネルギー消費の節約、環境への負荷低減に取り組んでいます。</p> <p>◎パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定期的消防訓練の実施（消防署連携） <p>消防訓練を定期的に消防署と連携実施し、防災体制の強化に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定期的防犯訓練（テロ）の実施（警察署連携） <p>防犯訓練を定期的に警察署と連携実施し、防犯体制の強化に取り組んでいます。</p>	   


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
86	<p>沖縄ヤマト運輸株式会社</p> <p>代表取締役社長 赤嶺真一</p>	<p>沖縄ヤマト運輸は、持続可能な社会の発展をリードする企業として、環境と調和する経営に注力しています。環境に配慮した物流、特に輸送や施設での資源・エネルギーの効率利用や環境負荷を低減する商品・サービスの提供を進め、低炭素社会や循環型社会の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 輸送の取組み「環境にこだわった輸送を実現します」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社員一人ひとりが、日々エコドライブを実践します。 (2) EV車・低公害車の導入や、台車・新スリーターなどを使った集配により、CO2などの排出ガスの削減を図ります。 (3) ドライアイスの使用量を抑制する輸送ネットワークの構築を推進します ● 施設の取組み「施設の省エネ化を推進します」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 社員一人ひとりが、エネルギーを大切に、省エネ活動を実施します。 (2) 照明設備のLED化などにより、施設の省エネ化を推進します。 (3) 業務のペーパーレス化により、紙の使用削減を推進し、ゴミの排出量を減らします。 ● 商品の取組み「環境に配慮した商品・サービスを展開します」 <ol style="list-style-type: none"> (1) リターナブル資材などの開発・導入を推進します。 (2) グリーン購入やリサイクルを推進し、資源を有効活用します。 ● 地域との取組み「地域の皆様とのコミュニケーションを強化します」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自治体や地元企業との連携を強化し、「首里城復興支援」や「サンゴ礁保全活動」、「各種スポーツイベント」などの企画・協賛活動を推進します。 (2) 地域社会の一員として、「交通安全運動への参画」・「見守りパトロール活動」・「清掃活動」などを通じて、地域とのつながりを深めていきます。 	   


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
87	<p>オリジン・コーポレーション</p> <p>代表 首里のすけ</p>	<p>【ネット動画】 HUB 沖縄（つながる沖縄ニュースネット）にて動画コンテンツ企画「オリジン SDGs げきじょう」を制作しています。芸人のネタやロケを通じて、視聴者と共に SDGs への理解を深めます。 https://hubokinawa.jp/archives/category/movie/movie-channel04</p> <p>【お笑い】 じゅん選手によるしまくとぅばを交えたキャリア教育や、ネパール人芸人らむちゃんの、国際交流プログラムなど、学習に応用できるお笑いを学校や観光施設に提供しています。</p> <p>国際交流プログラム 例 2021 年出演 【まーいまーい Naha オンライン講座】ネパールから見た沖縄【国際相互理解増進講座】 - YouTube</p> <p>【市民劇】 2018 年劇団 O. Z. E. 公演「琉球島人 2018」では、県内の小学校 4 年生から一般の方を対象に募集をかけ、4 カ月の稽古を重ね、パレット市民劇場にて公演しました。市民劇を通じて子供達に自己表現の大切さや沖縄の歴史を知ってもらい、生涯学習にも繋がります。また、売り上げの一部で、交通遺児協会や病院への寄付を行いました。</p> <p>【平和劇】 「白梅学徒隊から託されたもの」 沖縄戦当時、白梅学徒隊に配属され、生き抜いた中山キクさんよりお話を聞き脚本を作成しました。戦争の語り部が少なくなっていく現状、その課題解決として演劇を通じて後世に伝えていく事を目的としています。2019 年「宜野湾平和学習派遣事業」の一環として宜野湾市にて上演しました。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
88	株式会社環境ソリューション 代表取締役 南 秀樹	<ol style="list-style-type: none"> 1、日本赤十字社への寄付活動、自然災害・高齢者・障がい者・飢餓へ支える貢献取組。 ① ② 2、地球温暖化防止対策として、温室効果ガス排出削減への取組みする中、最近の事業として環境省の「CO2 削減ポテンシャル診断」、経済産業省の「省エネルギー診断」を受け、抑制及び改善すべき部分が具体的に増えてきた、更に10年以上継続する認証登録「エコアクション21」環境負荷への削減取組みと前述の診断事業結果を踏まえた効果的な取組推進を図っています。③⑦⑪⑬⑮ 3、女性、高齢者、外国人への雇用を行う。③⑤⑧⑩ 4、社員教育と業務に係る技術教育を自社や外部講師にて開催、お客様への廃棄物説明会の開催や、施設への案内により適正処理への理解の為、個人、企業、県内外からの視察受入れ中。④ 5、産業廃棄物処理業として騒音、振動、悪臭の抑制取組。⑥⑪⑫⑬⑭⑮ 6、花や緑による「緑の美ら島」への実現のため、緑化の取組を積極的に推進しています（弊社は花と緑に囲まれた環境にあります）。⑮ 7、雇用環境の整備により、社員が働き易く定年後も安心して再雇用、再々雇用へと働ける社会の組織カンパニーの実現と社員の幸せのため「働き方改革」への雇用形成を目指しています。⑤⑧⑩ 8、環境にやさしい循環型社会の構築、廃棄物発生抑制、再使用、再利用・再資源として3Rの推進。⑫⑬ 9、有給休暇その他休み等でワークライフバランス促進及び研修制度、自己啓発の促進、福利厚生充実など働き方改革の構築の為の推進中。③⑧⑩ 10、廃水処理への取組み。⑭ 11、グループ会社の(株)倉敷、(有)華南産業、沖縄県医療廃棄物事業協同組合と共に協調体制を図り、互いを補いながら、力強いパートナーとして躍進しています。 ⑰ 12、ISO 14001 環境マネジメント令和3年内には認定取得予定（ISO9001 品質マネジメント既取得）。③⑥⑦⑪⑫⑬⑭⑮ 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
89	<p>株式会社 クガニ</p> <p>代表取締役 上間宏明</p>	<p>●食品残渣から自然エネルギー肥料・飼料へ（脱炭素） 一般廃棄物処理事業で集まった食品残渣をアメリカミズアブの幼虫を活用することで、電気、燃料を使用した発酵機械よりも短期間かつ低コスト、環境に優しい自然エネルギー肥料を生産します。また、アメリカミズアブは家畜・水産動物の飼料としての整備を進めます。</p> <p>●無農薬・無化学肥料・循環型農業（自然環境の保全） 自然エネルギー肥料を用いて農作物を育てると同時に、今ある環境を最大限利用する形で『アクアポニックス農法』を採用した水生野菜を栽培していきます。現在ある養殖池、広大なハウス、微生物の活用、近くを流れる水源を利用した循環型ファームを作り、電気に頼らない自然のサイクルで農作物を生み出します。</p> <p>●将来の食糧危機への対応（産業と技術革新の基盤） 家畜や水産業魚粉の供給不足が懸念されている中、アメリカミズアブは高いタンパク源として世界から注目されている飼料であり、それを用いて鶏などの家畜・水産動物や未来の食糧危機問題の解決策としての昆虫食を飼育し、機械に頼らない自然サイクルの中で人々へ安心・安全な食の提供を行なっていきます。 「食品残渣から食卓まで」をコンセプトにそれらの循環型システムを確立し、地域の雇用創出・経済活性化（働きがい・経済成長）を実現します。そして地域の環境を守り続けていきます。</p> <p>地域ブランド化活動（つくる責任）の一つの取り組みとして、沖縄県内並びに県外のエンタメ業界とのタイアップ企画（パートナーシップ）も進行中です。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
90	<p>国建グループ</p> <p>(株)国建 代表取締役社長 比嘉 盛朋</p> <p>(株)環境設計国建 (株)ジオテクノ国建</p> <p>計 3 社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2030 年までに新築建築物の平均で ZEB の実現を目指す為、高効率機器の導入や太陽光パネル設置による自家発電等の検討・提案を積極的に行い、省エネと快適性の両立に取り組んでいる。また、計画段階から実施設計まで一貫して社内で行える弊社の強みを生かし、沖縄という地域に特化したシステムを提案・発展させ、持続可能な地域づくりに貢献していく。 ●観光インフラの充実や二次交通の対策は重要なものとなっている。弊社では、国や県の発注業務に携わり、地域資源を生かした国際交流拠点の形成や安定的・効率的な物流環境の創造、安心・安全を支える災害に強い強靱な県土の形成に取り組んでいる。 ●調査及び計画、設計業務を通して、製品ライフサイクルの観点を通じ、スクラップ等の廃材を活用した建材等を積極的に盛り込む提案を行う。 ●耐震診断業務等に関わりながら、既存建物の長寿命化に係る技術的な提案を積極的に行う。 ●ボーリング時の掘削孔の復旧作業には掘削時に排出された掘削屑を利用するとともに再生材（コンクリート等の廃材を砕いたもの）を主として用い、天然資源（採掘所の岩石）利用の削減や再生材の利用で廃棄物の削減を目指す。 ●自然災害時にも事業を継続する事が特に求められる官公庁舎やエネルギー企業社屋の設計において、要望に応じ、BCP を導入している。構造計画では免振構造の採用を、建築計画では防災拠点として機能し得る空間構成や備蓄倉庫の確保を、設備計画では非常用発電機やマイクロコージェネレーションガスエンジン発電機の設置検討等、適宜事業に応じ最適な提案を行うことで、気候関連災害や自然災害に対するレジリエンス及び適応の能力強化に取り組む。 ●「まちづくり」という間口の広いテーマを扱う企業として、外注・JV 等連携する業種や人材もバラエティに富むことから、沖縄県の持続可能な発展に関し、これらのパートナーシップ強化を進める。 ●官民連携や PFI・PPP 事業など対応の構築を進め、沖縄の自立発展に寄与し、沖縄らしい持続可能な開発を進める。 	    

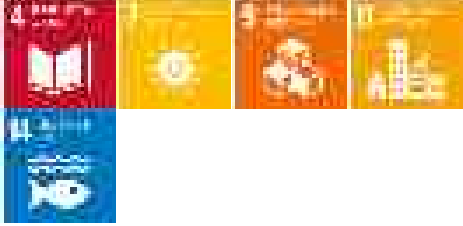
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
91	ケイスリー株式会社 代表取締役社長 CEO 幸地 正樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治体に向けたヘルスケア推進・市民行動変容の支援事業（浦添市、西原町等に向けた大腸がん検診受診勧奨事業等、ヘルスケア系の市民 QoL 向上に向けた取り組み、地方自治体に向けたコロナ感染予防情報発信の支援） ・ 地方自治体に向けた子育て支援情報発信・市民行動変容の支援事業 ・ 行政基本計画等への社会的成果コンサルティング支援（沖縄県科学技術振興課等に向けた行政の基本計画、施策と社会的成果の紐づけや整理に関するコンサルティング支援） ・ 行政の SDGs 推進に神奈川県事業等、地方自治体に向けた SDGs 推進のコンサルティング事業 	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
92	<p>株式会社 敬想</p> <p>代表者</p> <p>宮城勇</p>	<p>弊社は、遺品整理や特殊清掃、消臭消毒除菌作業、ハウスクリーニング、産業廃棄物収集運搬等を主な業務としております。ご依頼者様に気を遣わせないように、安心してご相談や作業をできる環境づくりを心掛け、日々地域に貢献していけるよう努めております。弊社では、SDGs 目標の達成に向けて以下の取り組みを行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社ではフルボ酸という 100%天然由来の腐植質を使って消臭消毒除菌等を行っております。100%天然のもので、人体やペット等への被害や刺激臭等も御座いませので、作業中はもちろんのこと、作業後も安心安全に住居、施設等をご利用していただけます。フルボ酸は、人間や動物、自然農業、畜産、漁業といったあらゆるものに対して数多くの効果効能があります。土壌汚染、環境破壊、安全な消毒液等あらゆる方面へフルボ酸の可能性を発信していきます。 ・これまでは処分しておりました遺品整理や生前整理、ゴミ屋敷等から出る家具、家電、食器等を海外へ輸出し、ゴミの量を最小限に抑えます。日本では不用品として売れづらいものも海外では日本製ということで重宝されるものも多くあります。いままでかかっていた廃棄コストを大幅に削減し、浮いたコストをご依頼者様に還元したり、他社と比べて低価格での不用品回収サービスを実現しております。 ・生前整理等の現場では、ご高齢の方と一緒に作業するといった場面がありますが、こういった現場では女性が活躍致します。やはり、男性よりは女性の方が安心できたり相談しやすかったり、特にお身体の悪い方には気を使わせてしまうケースもあります。弊社では、積極的に女性も雇用しております。特殊清掃の現場では病原菌やウイルス、新型コロナウイルスの除染作業等の危険な現場を防護服や特殊マスクを装着して命がけで戦い、一日でも早く平穏な日常を取り戻すべく努めております。 <p>これからも末長く安心安全な地域づくりに貢献させていただくとともに、ここ沖縄から日本を、世界を繋げていき、スタッフ一丸となって SDGs を達成していくため上記の取り組みを行っていきます。</p>	


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
93	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用 支援機構 沖縄支部 沖縄職業能力開発大学 校 校長 高良 富夫	<ul style="list-style-type: none"> ●学卒者訓練及び在職者訓練を通して、技術的・職業的スキルを付与し、働きがいのある人間らしい仕事に必要な技能を備えた若者を育成しています。 ●ものづくり現場である工場や事業所等における計測・制御技術、電気設備の保守管理の技能・技術に加え、環境・エネルギー有効利用技術を習得します。 ●沖縄産学官イノベーション創出協議会への参画を通して、県内のものづくり企業、学術研究機関などの交流を通じ、新たなビジネス・イノベーションの創出を目的とした県内のものづくり産業の振興を目指しています。 ●生活空間と人間、社会、自然との関わりを理解し、生活空間の環境創出、生産システムや自然現象に対する安全性等に関する知識及び技能・技術を習得します。 ●全国の学生が参加する沖縄海洋ロボットコンペティションの開催および参加を通して、海洋資源関連技術の発展に寄与しています。 	

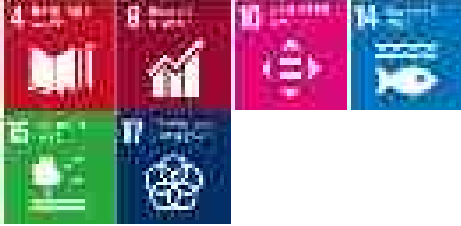
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
94	コーダー道場名護 安藤 元気	<p>いかなる形態の貧困も終わらせ、平和と繁栄を確保する社会を目指し、子どもたちを対象とした無料のプログラミングクラブを開催しています。</p> <p>技術的スキルなど、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者の割合を増加させることを目指し、活動（学習支援活動、ワークショップ、講演会、情報発信など）に取り組んでいます。</p> <p>さまざまな協力の仕組みをさらに良いものにすることを目指し、沖縄県内外の子どもたちが参加するワークショップを実施しています。</p>	

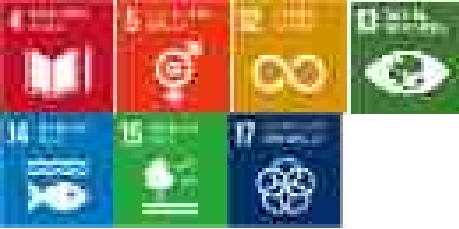
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
95	株式会社サンクス沖縄 代表取締役 神田 哲良	<p><u>1. 貧困をなくそう</u> 「沖縄子どもの未来県民会議」の沖縄未来サポーター会員になり、その活動を継続的に支援しています。</p> <p><u>5. ジェンダー平等を実現しよう</u> ジェンダーによる男女差別がなく、一人一人の実力と個性が輝く会社です。</p> <p><u>8. 働きがいも経済成長も</u> スキルアップを目的とした資格取得へのサポート、様々な研修やセミナー受講を行っています。</p> <p><u>11. 住み続けられるまちづくりを</u> 社会に貢献し、地域から必要とされる企業を目指すとともに、誰もが住みやすい居住空間を提案しています。</p> <p><u>12. つくる責任つかう責任</u> 中古物件や空き家、休遊地などを有効活用することで、新たな暮らしや生活の実現に貢献しています。</p> <p><u>14. 海の豊さを守ろう</u> 持続可能な開発のために、水産資源を保全する形で利用しています。</p> <p><u>16. 平和と公正をすべての人に</u> 「誠一筋」「人に尽くす」を経営理念に掲げ、誠実で正直、公平・公正な仕事に徹し、関わる全ての人へ感謝の心を忘れずに行動しています。</p> <p><u>17. パートナーシップで目標を達成しよう</u> 同じ業界だけではなく、異業種の方々との交流を図り、持続可能な開発のための実現に向けた情報共有をしています。</p>	

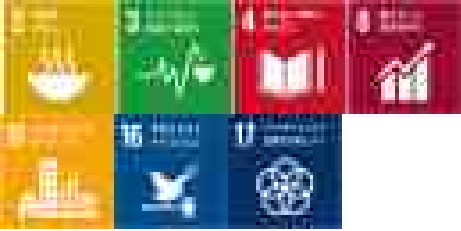
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
96	株式会社シーサー 代表 稲井日出司	<p>取り組み 1：サンゴに食害被害をもたらすレイシガイを定期的に駆除しています。捕獲したレイシガイをアクセサリーに加工してゲストに販売、その費用の一部をサンゴの保全活動へ寄付しています。</p> <p>取り組み 2：那覇市にある会社近くの港周辺で、これまで 15 年以上、毎週 1 回のごみ拾い活動を継続して実施しています。現在は、きれいな海の実現を目指す「BLUE SHIP」に登録し、その活動に参加しています。</p> <p>取り組み 3：沖縄を訪れる全国からの修学旅行生のみなさんへ、環境教育のコンテンツを盛り込んだメニューを提供しています。</p> <p>取り組み 4：ダイビング・マリン業界で、ダイビングインストラクターが働く環境を改善したいとの思いから、一般社団法人沖縄マリンレジャーセイフティービューロー様が進める「SDO セイフティ・ダイビング・オキナワ」の取り組みに賛同し、協力しています。</p> <p>取り組み 5：観光業の持続的発展を目指し、量から質への転換に取り組んでいます。同じ志をもつ県内外の事業者と連携し、沖縄の資源を活かす「AT アドベンチャーツーマリズム」商品の開発を目指します。</p> <p>取り組み 6：多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげるダイバーシティ経営に取り組んでいます。その取り組みが認められ、経済産業省より、「平成 27 年度 新・ダイバーシティ経営企業 100 選」に選出されました。</p>	







おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
97	株式会社シー・テクニ コ 前田 博	<p>私たちは、海や自然に関連した事業を竹富町（小浜島）及び石垣市（石垣島）を拠点として、マリンアクティビティツアー等を主催・運行等している会社です。「自然界とのふれあい体験を通じて育む共生社会の創造」を企業理念として掲げているため、自然環境分野に関連した目標達成の一助となるべく、取り組みを推進していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「持続可能な社会づくりの担い手」を育む 沖縄の人々や世界中の人々が豊かに暮らし続ける地球環境を守るために、自然環境や海に関係する知識や気づきを得る機会を、国籍、人種、性別や年齢等を問わずに提供することで持続可能な社会づくりの担い手を育みます。 ●「生物多様性の保護」を実現する 豊かな自然環境や生物多様性を守るために、自然環境や生物保護の重要性を周知し、海洋生物などへの影響に配慮した持続可能な利用のための行動をします。そして、正確な情報を基にした、ブルー・エコノミー促進の一助となります。 ●パートナーシップで目標を達成する 私たちの取り組みや他団体などの取り組みを促進して各種目標を達成するために、私たちだけではなく様々なステイクホルダー（行政、NPO、事業者、地域、学校などの各種団体や人達）を巻き込んだパートナーシップにより目標達成への行動をします。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
98	合同会社しんかの力 代表社員 宮城力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気や怪我を少なくし、身体を動かし、栄養バランスのとれた食事をする事で、生活困窮者では、生活保護を受給しながら利用することもできる。また、社会福祉協議会と連携しながら、最善の支援ができる体制作り。私達の支援を受けることで「健康長寿」を伸ばすこと。 ・ 学校スタイルにしたデイサービスにすることで、学びの中から、認知症の進行を抑えた取り組みを実行。 ・ プライベートの時間を有効につかって家族や友人との時間を充実することで、職員の「働きやすい環境」づくり。 ・ 高齢となって自主的に外出の機会が減少した方でも、現在は月に 2 回糸満の市場で、デイサービスの利用者・職員・市場の店舗スタッフ・買い物客と交流をもち体操やレクリエーションを実行している。「地域との交流」を持ちながら生活できる支援の継続。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
99	株式会社新東通信 谷 喜久郎	<p>【紙、プラスチックの代替え、サステナブルに活用できる新素材 LIMEX の普及】を日本各地の企業、自治体への導入、活用を支援、コンサルティングしております。</p> <p>沖縄県内でも、企業様の名刺やパンフレット等の紙製品を LIMEX 製品へ変更をさせていただいております。また、沖縄県内の印刷会社様ともパートナーシップを組み LIMEX での印刷を開始致しました。プラスチック製品の代替えとして LIMEX 製の抗菌マスクケースも沖縄県内の商業施設で販売していただいております。</p> <p>沖縄 21 世紀ビジョンに基づいた下記の目標を力強く推進してまいります。</p> <p>■ビジョン I 基本施策 2 持続可能な循環型社会の構築 石油由来のプラスチック素材を生分解性の LIMEX に切り替えることにより海洋汚染を抑制します。また、LIMEX の沖縄県内でのアップサイクルモデルの実現を目指します。</p> <p>■ビジョン I 基本施策 3 低炭素島しょ社会の実現 バイオ由来樹脂を活用した LIMEX の使用により CO2 排出削減に寄与します。</p> <p>■ビジョン I 基本施策 5 文化産業の戦略的な創出・育成 LIMEX 製品にびんがた等沖縄独自のデザインを採用することにより沖縄伝統文化産業の育成に寄与します。</p> <p>■ビジョン III 基本施策 5 科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成 LIMEX 対応の印刷会社、メーカーとのサイクルモデルを沖縄県内の企業と構築することにより、地場産業の高度化と人づくりに貢献する。</p> <p>■ビジョン III 基本施策 9 ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成 沖縄の資源と伝統文化（びんがたデザイン等）を LIMEX ビジネスモデルで商品化し地域ブランドとし販路拡大する。</p>	     

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
100	タピック沖縄株式会社 宮里好一	<ul style="list-style-type: none"> ●健康的な生活の促進 ウェルネスツーリズムの確立 日々の生活のサポートとして、心理カウンセラーや医療関連と連携し健康に不安を抱える方へ社会に復帰するプロセスを行う。自然豊かな中に佇むウェルネスホテルに宿泊しながら、専門家による運動指導、カロリー計算された食事、天然温泉の利用いただけるプランを販売し、生活習慣の見直し、健康長寿・健康の達成、豊かな人生をゴールとする。 ●雇用、技術教育、あらゆるレベルの教育や職業訓練の実施 特別支援学校生、就労支援センターの就業体験を積極的に受入れています。年間 5 校程度。体験より就労に繋げ、障がい者雇用を推進している。ホテル周辺の小学校、中学校、高等学校にて、出張マナー講座、職業人講話を実施。社会人としての接遇マナーに加え、沖縄の観光産業での働きがい伝授。2019 年実績 26 校。 ●天然ガスで稼働する発電機で電気と熱の供給システム実用化 水溶性天然ガスを活用した発電・排熱システム「コージェネレーションシステムの導入」。システムの発電・排熱で、ホテルの照明や空調の電気量の約 10%、給湯器約 70%分を賅うことができる。年間約 2,150 トンの CO2 削減。2016 年コージェネ大賞 民生用部門特別賞受賞 ●広大な緑地を使用した健康運動（ヨガ・グランドゴルフ）の実施 35,000 坪の広大な敷地には、県内屈指のハードコートテニス、グランドゴルフができます。グローバルウェルネス DAY、年始初日の出ヨガも開催。健康運動の場所として市民へ提供。 ●持続可能な観光業を促進する ホームページにて南城市の魅力を配信、健康ウォークをテーマにした eco スピリット&ライドウォークの開催拠点として実施。南城市食材の積極的な取り入れ、県産品の物品の販売をし観光促進を行う。 ●効果的な公民連携の実施 県内外企業が利用可能な快適なワーケーション施設を構築し、地域課題の解決・地域事業者への先端 IT 導入・沖縄ワーケーションを促進する事を目的とする。 ●天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用 ユインチホテル南城には、地底 2119m、約 500 万年前と 5400 万年前の異なる時代の地層からブレンドされた太古の海水が含まれた温泉を抽出。57.5 度という高温で汲み上げる事を可能とし、加水・加熱、ろ過処理を施す必要がなく、温泉成分をそのまま実感することができます。疲労回復、うちみ、慢性消化器病、病後回復、美容に効果が期待され、地域の皆様に癒しの場として活用いただいています。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み（五十音順）